

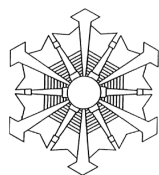
令和元年版

消防年報



宜野湾市消防本部

令和2年刊行



まえがき

この年報は、令和元年中における本市の消防事情を収録（一部においては過去10年ないし5年間の推移を収録）したもので、消防行政の運営の指針とするとともに消防の状況を広く紹介するため編集したものです。

なお、収録の統計資料は、暦年単位でもって表していますが、その他の事項については年度及び4月1日をもって作成してあります。

令和2年

宜野湾市消防本部

目 次

市勢・消防の沿革

○ 位 置	1
○ 地 勢	1
○ 人口及び世帯数	2
○ 面 積	2
○ 宜野湾市の略図及び消防庁舎写真	3
○ 消防の沿革	4～11
○ 歴代消防長	12
○ 歴代消防隊長・消防団長	12

組 織 ・ 人 事

○ 組織人事概要	13
○ 消防本部組織図	14
○ 消防本部・消防署の事務分掌	15～17
○ 職員配置状況	18
○ 消防職員定数及び実数	19
○ 年度別職員数	19
○ 職員の階級別・年齢別構成表	20
○ 職員の階級別・勤続年数別構成表	21
○ 職員の教育訓練状況	22
○ 職員の資格・技能取得状況	23
○ 消防職員表彰・元消防職団員叙勲受章者	24
○ 消防力の整備指針と現有消防力との比較	25
○ 面積・人口・世帯数に対する消防力	25
○ 消防相互応援協定等の状況	26

消 防 団 関 係

○ 消防団組織図	27
○ 消防団員定数及び実数	27
○ 消防団員の報酬及び費用弁償額	27
○ 消防団員活動状況	28
○ 消防団員の装備	28
○ 消防団員表彰	28

消 防 予 算

○ 令和元年度消防予算決算及び令和2年度消防予算	29
○ 市予算と消防予算の推移	30
○ 市民1人当り・1世帯当り消防費の推移	30
○ 令和2年度予算概要	30

消防施設機械

○ 過去1年間の施設機械状況	31
○ 消防本部及び署所の名称・位置	31
○ 消防庁舎概要	31
○ 消防通信施設	32～33
○ 消防水利の現況	34
○ 現有消防車両	34
○ 消防用車両配置一覧表	35
○ 全国統一防火標語	36

予 防

○ 火災予防概要	37
○ 数量別危険物施設の現況	38
○ 危険物施設事務処理状況	38
○ 危険物関係事務手数料収入状況	39
○ 危険物施設数及び事業所数の推移	39
○ 少量危険物取扱施設数	39
○ 各種届出事務処理状況	40
○ 防火管理資格取得講習会実施状況	40
○ 用途別防火管理者選任(解任)届出状況	41
○ 防火管理者を必要とする防火対象物数	42
○ 防火対象物別立入検査状況	43
○ 建築同意事務処理状況	44
○ 過去5年間の建築同意受付件数	44
○ 月別・用途別建築同意処理状況	45
○ 用途別消防用設備等設置件数	46
○ 中高層建築物用途別棟数状況	47
○ 予防広報活動状況	48

火 災

○ 火災統計概要	49
○ 過去5年間の火災種別発生件数・状況	50
○ 過去5年間の火災件数、損害額及び焼損面積	51
○ 月別・年次別火災発生状況	52
○ 令和元年の出火原因別火災発生件数	53
○ 近年における主な住宅用火災警報器による奏功事例	53
○ 月別・用途別出火件数	54
○ 覚知別火災出動件数	54

○ 曜日別火災発生件数	54
○ 月別・時間別火災発生状況	55
○ 行政区別・月別火災発生状況	56

救 急

○ 救急統計概要	57
○ 事故種別・時間別救急出動件数	58
○ 時間別救急出動件数	58
○ 事故種別・時間別救急搬送人員	59
○ 時間別救急搬送人員	59
○ 事故種別年令区別傷病程度別搬送人員	60
○ 月別救急出動件数	61
○ 曜日別救急出動件数	61
○ 行政区別救急出動件数	62
○ 過去10年間の救急出動件数	63
○ 過去10年間の事故種別救急出動件数	63
○ 署所別救急出動件数	63
○ 救急隊員が行った応急処置件数	64

救 助 ・ その 他 出 動

○ 救助統計概要	65
○ 災害別・月別出動件数	66
○ 行政区別出動件数	67

そ の 他

○ 消防関係主要行事・訓練関係	68
○ 救命講習・庁舎見学・職場体験学習	69
○ 気象観測データ	70



市勢・消防の沿革

位 置

本市は、沖縄本島中南部の東シナ海に面し、北には北谷町、北東には北中城村、東には中城村、南東には西原町、南に浦添市と面しています。

那覇市より北に12Km、沖縄市より南に6 Kmの地点にあり、市内をドーナツ状に国道58号、国道330号、県道宜野湾北中城線、県道34号線が通り、さらに沖縄自動車道の北中城インターチェンジ、西原インターチェンジへもつながりが容易な沖縄本島の中部及び北部を結ぶ交通上の重要な地点に位置しています。

地 勢

海岸線は、比較的に出入りが少なく、珊瑚礁が発達して遠浅をなしています。

陸地は、東西が6.1 Km、南北が5.3 Kmのやや長方形で、海岸線は、おおむね平たんであるが、国道58号以南は、台地となっており市域の中央部は、米軍基地となっており。また、河川は浦添市界に宇地泊川、牧港川、北谷町界に普天間川があります。

気候は、亜熱帯性で、年平均気温は22.8度と四季を通じて温暖で、春から夏にかけて雨量が多く、梅雨明けとともに長い夏が続きます。夏から秋にかけて熱帯性低気圧の進路となり、台風の影響が多くなります。

最東端	東 経
	127° 47' 21"
最西端	東 経
	127° 43' 46"
最南端	北 緯
	26° 14' 45"
最北端	北 緯
	26° 17' 38"



宜野湾市消防は、昭和26年4月29日に宜野湾村消防隊を結成し、昭和38年、当時の高等弁務官資金により普天間に庁舎を建築しました。当時、この建物は近代的な建物で、一部煉瓦造で望楼（火の見やぐら）が設置され、周辺を一望できる高層建物でした。宜野湾市には、その当時から普天間基地が存在し、普天間から遠距離の地域へは、基地を迂回せねばならず、現場到着までに15分以上要していました。その実情を踏まえ、昭和53年に我如古出張所を開所しました。また、市役所移転に伴い昭和61年3月には消防本部が普天間から野嵩に移転しました。

当時、宜野湾市は市全体が都市化され、人口増加が著しく建物も高層化され、火災・救急・その他災害も増加する中、市内全域5分以内に現場到着することを念頭に平成7年に真志喜出張所を開所しました。基地を囲むように3署所をバランスよく配置したことで、現場到着まで概ね5分以内に到着することが可能になり、消防力が一段と向上しました。

宜野湾市人口及び世帯数

令和2年4月1日現在

住民登録人口		計	世帯数
男	女		
48,358	51,191	99,549	45,133

面積

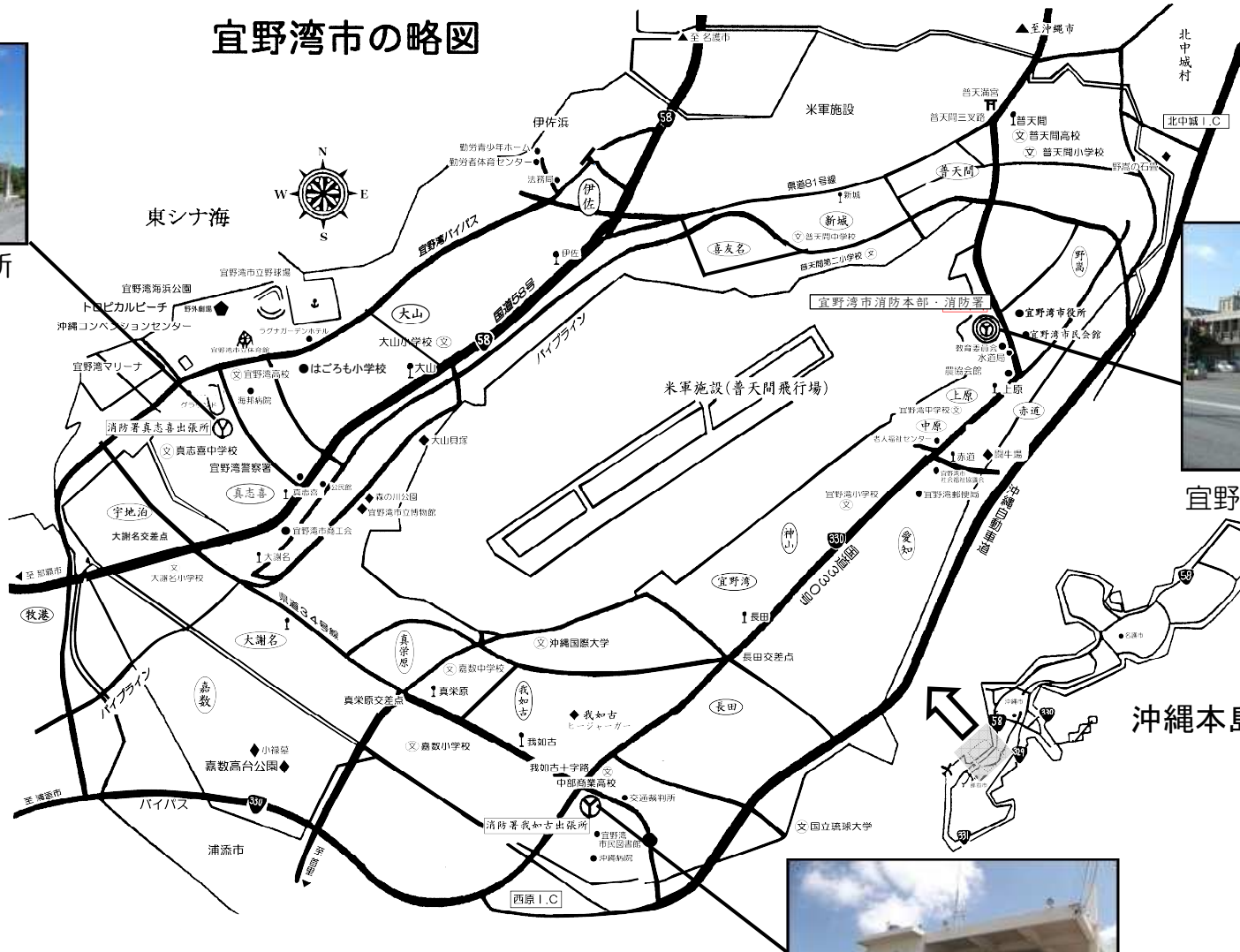
令和2年4月1日現在

面積	東西	南北
19.80km ²	6.1km	5.3km

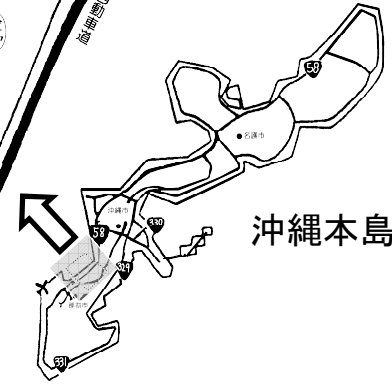
宜野湾市の略図



消防署真志喜出張所



宜野湾市消防本部・消防署



沖縄本島



消防署我如古出張所

消 防 の 沿 革

年 月 日	事 項
昭和24年 4月29日	初代消防隊長 宮城 光雄 就任
昭和25年 7月7日	三輪自動車ポンプ車配置
〃 10月25日	消防隊に関する法（米国軍政府令第28号）公布される
昭和26年 4月29日	宜野湾村消防隊を結成、宜野湾村消防隊隊規を設定する 隊長、副隊長、幹事各1名、評議員若干名、分隊長23名 隊員は各部落毎に、住民100名に対し2名の割合で配置する
昭和27年 10月	第2代消防隊長 宮城 豊吉 就任
〃 12月12日	消防法（琉球政府立法第66号）公布される
昭和30年 1月	第3代消防隊長 照屋 毅 就任
昭和31年 6月1日	第4代消防隊長 大城 仁幸 就任
〃 10月3日	水槽付消防ポンプ自動車（中古）が初めて配置される
昭和33年 7月1日	宜野湾村消防隊条例を制定、役所一般職員による兼務制度を採用する 兼務隊員17名 非常勤務隊員23名
〃 8月29日	役所庁舎新築に伴い普天間532番地へ移転する
昭和34年 7月1日	常勤制度を初めて採用する（運転手1名）
昭和35年 9月29日	ジープ配置（軍払い下げ品）
昭和36年 5月30日	大型ポンプ車自動車購入（軍払い下げ品）
昭和37年 6月15日	消防組織法（琉球政府立法第37号）立法、同年12月施行
〃 7月1日	村を廃し、市制を施行、宜野湾市となる
〃 7月5日	水槽付消防ポンプ自動車（国産第1号、トヨタ）配置
昭和38年 3月18日	消防新庁舎落成
〃 7月1日	消防団を配置する 消防組織法に基づき従来の消防隊を組織替え、消防団に改称する 常勤団員4名、役所兼務団員10名、非常勤団員82名
〃 7月1日	初代消防団長 大城 仁幸 就任
〃 11月25日	中部市町村消防相互応援協定締結
昭和39年 7月1日	初代消防長 大城 仁幸 就任
〃 7月1日	消防本部、消防署、消防団の三機関を設置、消防業務の選任化を図る 消防職員9名配置 団員（非常勤）13名
昭和40年 7月15日	軽化学車兼水槽付消防ポンプ自動車を配置する アメリカ民政府から譲渡
〃 7月	職員増を図る 消防職員12名 消防団員10名 24時間隔日 日勤務制を実施
昭和41年 3月2日	水槽付消防ポンプ自動車（新車、いすゞ）購入
昭和42年 7月	職員増を図る 消防職員18名 消防団員6名
昭和45年 10月1日	琉球政府行政組織法の一部改正により、建築同意事務と危険物規則事務が 警察から市町村に移管される
〃 11月11日	指令車購入（トヨタ、新車）

年 月 日	事 項
昭和46年 11月24日	作業車購入（日産、ダットサン）
昭和47年 1月14日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（ジープ型）寄贈される
〃 4月24日	消防無線機設置
〃 5月15日	本土復帰 市の機構改革に伴い、消防本部に課設置（総務課、警防課）
〃 6月1日	救急業務が警察から市町村に移管される
〃 6月5日	職員増を図る 消防職員27名 消防団員5名
〃 7月10日	職員増を図る 消防職員31名 消防団員5名
〃 12月25日	救急自動車配置（国庫補助、トヨタ）
昭和48年 5月10日	職員増を図る 消防職員32名 消防団員5名
昭和49年 2月4日	消防無線、市町村波許可
〃 2月18日	消防庁舎増築
〃 12月12日	救助工作車配置、救助隊編成（10名）
昭和50年 2月3日	救急車1台日本損害保険から寄贈
〃 6月15日	沖繩海洋博、本部町今帰仁村消防署へ3名派遣（6ヶ月）
〃 8月1日	本部に予防課新設
〃 12月6日	水槽付消防ポンプ自動車購入
昭和51年 1月6日	宜野湾市消防音楽隊発足（17名）
昭和52年 2月1日	指令台の設置（海洋博協会から寄贈）
〃 12月5日	指令車購入
昭和53年 3月18日	宜野湾市消防署我如古出張所落成
〃 4月1日	職員増員17名 職員60名
〃 4月10日	宜野湾市消防署我如古出張所業務開始 職員21名配置
〃 9月21日	救急車日本消防協会から寄贈
昭和54年 2月19日	水槽付消防ポンプ自動車配置（11号車）
〃 11月22日	はしご付消防ポンプ自動車配置（32メートル級）
昭和55年 3月28日	連絡車配置（4号車）
〃 6月16日	救助用アルミボート購入
〃 6月19日	資機材搬送車配置（5号車）
〃 9月10日	火災保険号（水槽付消防ポンプ自動車）日本損害保険協会から寄贈（13号車）
〃 11月1日	第2代消防団長 古波藏 正男 就任
〃 12月18日	消防無線県内共通波許可
昭和56年 3月27日	救急車配置（6号車）
〃 3月30日	指令車配置（1号車）
〃 12月20日	小型動力ポンプ付積載車配置（9号車）
昭和57年 7月27日	宜野湾市消防音楽隊規定の改正
〃 12月24日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量10,000ℓ）配置（17号車）
昭和58年 6月30日	宜野湾市救急業務規定の改定
〃 8月1日	消防本部組織規則、消防署組織規定を全部改正

年 月 日	事 項
昭和58年 8月1日	教育委員会事務局へ1名出向
〃 10月7日	予防広報車配置(2号車)
〃 10月27日	消防ポンプ車(BDI型)配置(10号車)
昭和59年 3月30日	旅館、ホテル等に「適合マーク」交付開始
〃 4月1日	消防団員の定員、任命、服務等に関する条例の全部改正
〃 4月1日	消防団員定数22名
〃 7月31日	初代消防長 大城 仁幸 退任
〃 8月1日	第2代消防長 国吉 真義 就任
〃 10月1日	消防団員10名増員(男4名、女6名)県下初の婦人消防団員誕生
〃 10月1日	消防団員の組織及び消防団員の階級等に関する規則施行
〃 12月15日	職員欠員補充1名 その他の職員(女子)配置
〃 12月26日	水槽付消防ポンプ自動車配置(12号車)
昭和60年 2月5日	救急車配置(7号車)
〃 3月29日	連絡車配置(3号車)
〃 4月1日	国体部へ1名出向
〃 11月26日	消防新庁舎竣工 〈防衛庁補助〉
〃 11月30日	第2代消防長 国吉 真義 退任
〃 12月1日	第3代消防長 呉屋 好永 就任
〃 12月18日	水槽付消防ポンプ自動車配置(14号車)
〃 12月27日	救急指令台B型及び基地固定局無線設備設置 〈国庫補助〉
〃 12月27日	旧庁舎から移転
昭和61年 3月4日	消防庁舎落成式
〃 8月21日	消防職員2名採用
〃 12月5日	軍、民消防相互援助協約締結
〃 12月12日	宜野湾市消防安全管理規定施行
〃 12月12日	宜野湾市消防における訓練時安全管理要綱施行
昭和62年 3月1日	救急車配置(6号車)代替
〃 4月15日	消防職員2名採用
〃 3月31日	第3代消防長 呉屋 好永 退任
〃 4月1日	第4代消防長 島田 政朝 就任
〃 10月6日	沖縄自動車道における消防及び救急等の業務に関する覚書の締結
〃 12月1日	国体部から消防へ1名異動
〃 12月24日	救助工作車配置 代替
昭和63年 4月25日	消防本部内勤務配置替
〃 5月17日	総務課長(島袋全吉)市長部局へ出向
〃 5月17日	総務課長(稻福淑雄)市長部局より出向
平成元年 3月3日	水槽付消防ポンプ自動車購入(13号車代替) 〈国庫補助〉
〃 3月26日	資器材搬送車購入(5号車代替) 〈単独〉
〃 3月28日	水難救助用ゴムボート購入
〃 3月31日	第4代消防長 島田 政朝 退任
〃 4月1日	第5代消防長 多和田 真隆 就任

年 月 日	事 項
平成元年 4月1日	消防職員2名採用
〃 9月12日	連絡車(4号車)代替
平成2年 2月13日	指令車(1号車)代替
〃 3月19日	積載車購入 代替
平成3年 3月25日	水槽付消防ポンプ自動車配置(11号車) 〈国庫補助〉
〃 〃	無線機購入(11号車) 10ワット
〃 3月30日	救急車配置(7号車) 〈沖縄県補助〉
平成4年 1月31日	第2代消防団長 古波蔵 正男 退任
〃 3月17日	緊急人員輸送車配置(18号) 〈沖縄県補助〉
〃 5月1日	第3代消防団長 伊波 廣助 就任
〃 7月1日	救急救命士採用(1名)
平成5年 4月2日	職員増員4名 職員定数63名
平成6年 1月27日	予防広報車購入(旧広報車廃車) 〈沖縄県補助〉
〃 10月3日	職員増員5名
平成7年 1月5日	職員増員9名
〃 1月31日	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)購入(21号車) 〈国庫補助〉
〃 2月28日	連絡車購入(19号車)
〃 3月1日	救急救命士採用(2名) 職員定数80名
〃 3月23日	宜野湾市消防署真志喜出張所落成 〈防衛庁補助〉
〃 3月29日	救急車購入(8号車) 〈沖縄県補助〉
〃 3月30日	資器材運搬車購入(20号車)
〃 4月1日	宜野湾市消防署真志喜出張所業務開始
〃 9月	緊急消防援助隊 消火隊1隊登録
〃 11月6日	高度救急処置用資器材(プロパック102EL)購入(6号車)
平成8年 2月1日	小型動力ポンプ付水槽車(17号車) 代替
〃 2月15日	携帯無線機(5W)3基購入
〃 2月26日	水槽付消防ポンプ自動車購入(22号車) 〈国庫補助〉
〃 3月18日	指揮広報車(3号車)代替 〈沖縄県補助〉
〃 3月18日	我如古出張所無線基地局 代替 〈沖縄県補助〉
〃 3月21日	宜野湾市消防署真志喜出張所訓練塔落成 〈国庫補助〉
〃 9月5日	小型動力ポンプ購入(消防団)
〃 11月11日	高度救急処置用資器材(プロパック102EL)購入(7号車)
〃 11月15日	水難救助用ジェットスキー購入(真志喜出張所配置)
平成9年 3月28日	携帯無線機(VISAR)22基購入 〈沖縄県補助〉
〃 10月30日	高度救急処置用資器材(プロパック102EL)購入(8号車)
平成10年 3月20日	救急車(7号車)代替 〈沖縄県補助〉
〃 3月31日	5代消防長 多和田 真隆 退任
〃 4月1日	6代消防長 神里 常厚 就任
〃 3月18日	救急救命士採用(3名) 職員定数80名
〃 9月30日	自動式心マッサージ器(サンパー100型)購入(6号車)
平成11年 1月12日	救急救助資機材(空気呼吸器・マルチカッター)購入 〈沖縄県補助〉

年 月 日	事 項
平成11年 2月26日	救助艇船外機購入（真志喜出張所）
” 3月16日	消防緊急通信指令施設設置（代替） 〈国庫補助〉
平成12年 1月28日	気象情報収集装置購入 〈国庫補助〉
” 2月17日	高規格救急自動車購入（自治省補助）
” 2月18日	消防資機材（耐熱服、消防用ホース）購入 〈沖縄県補助〉
” 4月1日	九州・沖縄サミット消防警備対策班事務局へ1名出向（7月31日まで）
” 6月8日	はしご付消防自動車購入40m級（16号車代替） 〈国庫補助、明線事業〉
” 7月19日	九州・沖縄サミット消防特別警戒（警備、救急、ポンプ隊） 18名派遣
平成13年 2月22日	現場指揮車購入（1号車代替） 〈沖縄県補助〉
” 3月13日	消防水難救助艇一式購入（代替）
” 3月26日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
” 3月31日	第6代消防長 神里 常厚 退任
” 4月1日	第7代消防長 上江洲 勇 就任
” 4月1日	沖縄県消防学校へ1名出向（学校教官）
” 8月21日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）、12号車代替 〈国庫補助、明線事業〉
平成14年 2月19日	救急救命資機材購入（空気呼吸器5式、空気呼吸器用ボンベ13本）〈沖縄県補助〉
平成15年 3月19日	資機材搬送車購入（9号車代替） 〈沖縄県補助〉
” 3月25日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
” 4月1日	救急救命士2名採用（欠員補充）
” 7月11日	宜野湾市消防音楽隊規程を廃止する
平成16年 1月29日	消防用資機材（エアーテント）購入 〈沖縄県補助〉
” 2月25日	水槽付消防ポンプ自動車購入（14号車代替） 〈国庫補助〉
” 3月10日	高規格救急自動車購入（8号車代替） 〈国庫補助〉
” 3月23日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
” 4月1日	消防本部に警防課新設
” 9月28日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
平成17年 3月4日	消防庁長官から竿頭綬の授与
” 3月18日	救助工作車購入（15号車代替） 〈国庫補助〉
” 3月23日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
” 4月1日	救急救命士2名採用（欠員補充）
” 9月	緊急消防援助隊 消火隊1隊登録 計2隊
” 9月27日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
平成18年 2月21日	災害対応水槽付ポンプ自動車（13号代替） 〈17年度国庫補助〉
” 3月22日	防火衣購入 〈沖縄県補助〉
” 4月1日	救急救命士2名採用（欠員補充）
” 9月13日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
平成19年 2月23日	予防広報車購入（2号車代替） 〈沖縄県補助〉
” 2月28日	高規格救急自動車購入（7号車代替） 〈国庫補助〉
” 4月1日	消防職員3名、救急救命士3名採用（欠員補充）
” 9月13日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
” 12月26日	資機材搬送車購入（5号車代替） 〈沖縄県補助〉

年 月 日	事 項
平成20年 1月24日	災害対応水槽付ポンプ自動車（11号代替）〈国庫補助〉
〃 2月22日	防災活動車交付（10号車）〈19年度福祉共済事業等 日本消防協会〉
〃 3月31日	第7代消防長 上江洲 勇 退任
〃 4月1日	第8代消防長 呉屋 正成 就任
〃 4月1日	消防職員2名、救急救命士2名採用（欠員補充）
〃 9月8日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
平成21年 3月13日	指揮広報車（3号車代替）〈沖縄県補助〉
〃 4月1日	消防職員3名、救急救命士2名採用（欠員補充）
〃 11月30日	緊急人員輸送車配置（18号車代替）〈沖縄県補助〉
平成22年 2月18日	水難救助用ジェットスキー購入（代替）
〃 3月12日	高規格救急自動車購入（6号車代替）〈防衛補助〉
〃 3月31日	第8代消防長 呉屋 正成 退任
〃 4月1日	第9代消防長 平安名 常明 就任
〃 4月1日	消防職員4名 採用（欠員補充）
〃 4月1日	沖縄県消防広域化等研究協議会へ1名派遣
〃 6月30日	連絡車購入（4号車代替）〈単 独〉
〃 10月17日	消防大学校（警防科）へ1名派遣
〃 12月27日	資機材搬送車購入（20号車代替）〈沖縄県補助〉
平成23年 3月17日	東日本大震災 緊急消防援助隊隊員5名・水槽付消防ポンプ自動車1台派遣
〃 4月1日	消防職員3名 採用（欠員補充）
〃 4月1日	沖縄県消防広域化推進協議会へ1名派遣
〃 6月8日	消防大学校（火災調査科）へ1名派遣
〃 10月1日	第4代消防団長 濱元 朝晴 就任
〃 10月18日	消防大学校（警防科）へ1名派遣
平成24年 3月31日	第9代消防長 平安名 常明 退任
〃 4月1日	第10代消防長 大嶺 清光 就任
〃 4月1日	消防職員8名 採用（欠員補充）
〃 4月1日	沖縄県消防学校へ1名出向（学校教官）
〃 4月1日	市長事務部局（総務部市民防災室）へ1名異動（人事交流）
〃 6月12日	消防大学校（幹部科）へ1名派遣
平成25年 1月9日	消防資器材 空気ボンベエアコンプレッサー購入 〈沖縄県補助〉
〃 1月21日	救助艇・トレーラー代替 〈一括交付金〉
〃 3月31日	第10代消防長 大嶺 清光 退任
〃 4月1日	第11代消防長 米須 清一 就任
〃 4月1日	消防職員4名採用（欠員補充）
〃 4月1日	沖縄県消防通信指令施設運営協議会へ1名派遣
〃 5月27日	消防ポンプ自動車(CD-1)2台購入(21号車、22号車代替)〈一括交付金〉
〃 8月22日	第42回全国消防救助技術大会（はしご登はん）へ1名派遣
〃 8月24日	消防大学校（救助科）へ1名派遣
〃 12月18日	特殊災害対応資機材購入 〈一括交付金〉
平成26年 1月31日	指揮支援車購入（19号車代替）〈沖縄県補助〉

年 月 日	事 項
平成26年 3月6日	高規格救急自動車購入（8号車代替） 〈防衛補助〉
〃 3月31日	第11代消防長 米須 清一 退任
〃 4月1日	第12代消防長 浜川 秀雄 就任
〃 4月1日	消防職員定数80名から86名へ
〃 4月1日	消防職員3名採用
〃 4月1日	総務課 係統合により総務係新設
〃 11月8日	第24回全国消防操法大会（ポンプ車の部）へ団員6名派遣
〃 12月3日	我如古出張所 16名体制から19名体制へ増員
〃 12月12日	消防資機材（空気呼吸器10式・空気呼吸器用ポンベ20本）購入 〈沖縄県補助〉
平成27年 3月20日	小型動力ポンプ付水槽車購入（17号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	消防職員4名採用
〃 4月1日	沖縄県消防通信指令施設運営協議会へ1名（情報政策監理官）派遣
〃 4月1日	消防団員定数22名から30名へ
〃 8月12日	救急救命九州研修所（指導救命士研修）へ1名派遣
〃 9月1日	沖縄県消防通信指令施設運営協議会（沖縄県消防指令センター）へ2名派遣
〃 10月23日	119番受信業務を沖縄県消防指令センターへ移行（宜野湾市）
〃 10月23日	消防救急無線をアナログ方式からデジタル方式へ変更
〃 10月23日	高機能消防指令システムを導入し運用開始
平成28年 1月28日	高規格救急自動車購入（23号車） 〈防衛調整交付金〉
〃 2月1日	現場指揮車購入（1号車） 〈沖縄県補助〉
〃 4月1日	消防職員5名採用
〃 4月1日	沖縄県消防指令センター運用開始（14消防本部、12非常備町村 計26団体）
〃 4月20日	熊本地震 緊急消防援助隊 隊員5名派遣
〃 6月29日	救急救命九州研修所（指導救命士研修）へ1名派遣
〃 8月15日	消防団小型動力ポンプ購入 〈消防団備品購入費〉
平成29年 2月7日	救急救助資機材購入 〈沖縄県補助〉
〃 4月1日	消防職員定数86名から91名へ
〃 4月1日	消防職員5名採用
〃 5月15日	救急救命九州研修所（指導救命士研修）へ1名派遣
〃 6月8日	消防大学校（警防科）へ1名派遣
〃 9月4日	救急救命九州研修所（新規養成課程）へ1名派遣
平成30年 2月26日	防火服購入（上下30着） 〈沖縄県補助〉
〃 3月28日	水槽付消防ポンプ自動車購入（12号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	沖縄県消防学校へ1名出向（学校教官）
〃 4月1日	消防職員6名採用
〃 4月1日	消防署へ管理担当主査配置（警防課業務一部移管）
〃 6月12日	消防大学校（幹部科）へ1名派遣
平成31年 1月7日	防火服購入（上下30着） 〈沖縄県補助〉
〃 3月19日	高規格救急自動車購入（7号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	消防職員1名採用
令和元年 11月7日	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車（24号車） 〈総務省消防庁〉


年 月 日	事 項
令和元年 12月18日	救急用資機材一式購入 〈沖縄県補助〉
令和2年 2月25日	高規格救急自動車購入（6号車代替） 〈防衛調整交付金〉
" 4月1日	消防職員2名採用
	<p style="text-align: center;">～ 以下余白 ～</p>

歴代消防長

代	職名	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	消防長	大城仁幸	昭和39年7月1日	昭和59年7月31日
2代	"	国吉真義	昭和59年8月1日	昭和60年11月30日
3代	"	呉屋好永	昭和60年12月1日	昭和62年3月31日
4代	"	島田政朝	昭和62年4月1日	平成元年3月31日
5代	"	多和田真隆	平成元年4月1日	平成10年3月31日
6代	"	神里常厚	平成10年4月1日	平成13年3月31日
7代	"	上江洲勇	平成13年4月1日	平成20年3月31日
8代	"	呉屋正成	平成20年4月1日	平成22年3月31日
9代	"	平安名常明	平成22年4月1日	平成24年3月31日
10代	"	大嶺清光	平成24年4月1日	平成25年3月31日
11代	"	米須清一	平成25年4月1日	平成26年3月31日
12代	"	浜川秀雄	平成26年4月1日	現在

歴代消防隊長・消防団長

代	職名	氏名	就任年月日	備考
初代	隊長	宮城光雄	昭和24年4月29日	
2代	"	宮城豊吉	昭和27年10月	
3代	"	照屋毅	昭和30年1月	
4代	"	大城仁幸	昭和31年6月1日	
初代	団長	大城仁幸	昭和38年7月1日	消防組織法に基づき消防隊を消防団に改称する。
2代	"	古波蔵正男	昭和55年11月1日	
3代	"	伊波廣助	平成4年5月1日	
4代	"	濱元朝晴	平成23年10月1日	現在



組 織 ・ 人 事

組織人事概要

平成30年4月1日より増加する救急要請件数に対応するため消防署の人員を増員しています。

これまでは、消防署に配置している2台の高規格救急自動車のうち1台については、消防署、我如古及び真志喜出張所の高規格救急自動車の3台全てが出動した場合、次の救急要請に対し4台目の出動車両として運用していましたが、増員したことにより消防署の2台の車両を連続して救急出動させることが可能になり、救急体制の強化が図られました。また、新たに消防署に管理担当主査を配置し、繁雑であった警防課業務の一部を分散させ且つ指揮隊や救急隊の出動人員として活用できるようになっております。

事務分掌の変更点（警防課より消防署へ事務移管）

- 1 火災予防条例第45条(第2号及び第6号を除く。)に基づく届出の受理
- 2 救急講習、防災教育などの申請手続き窓口
- 3 救急救命士及び救急隊員の再教育管理
- 4 消防署予算管理 など

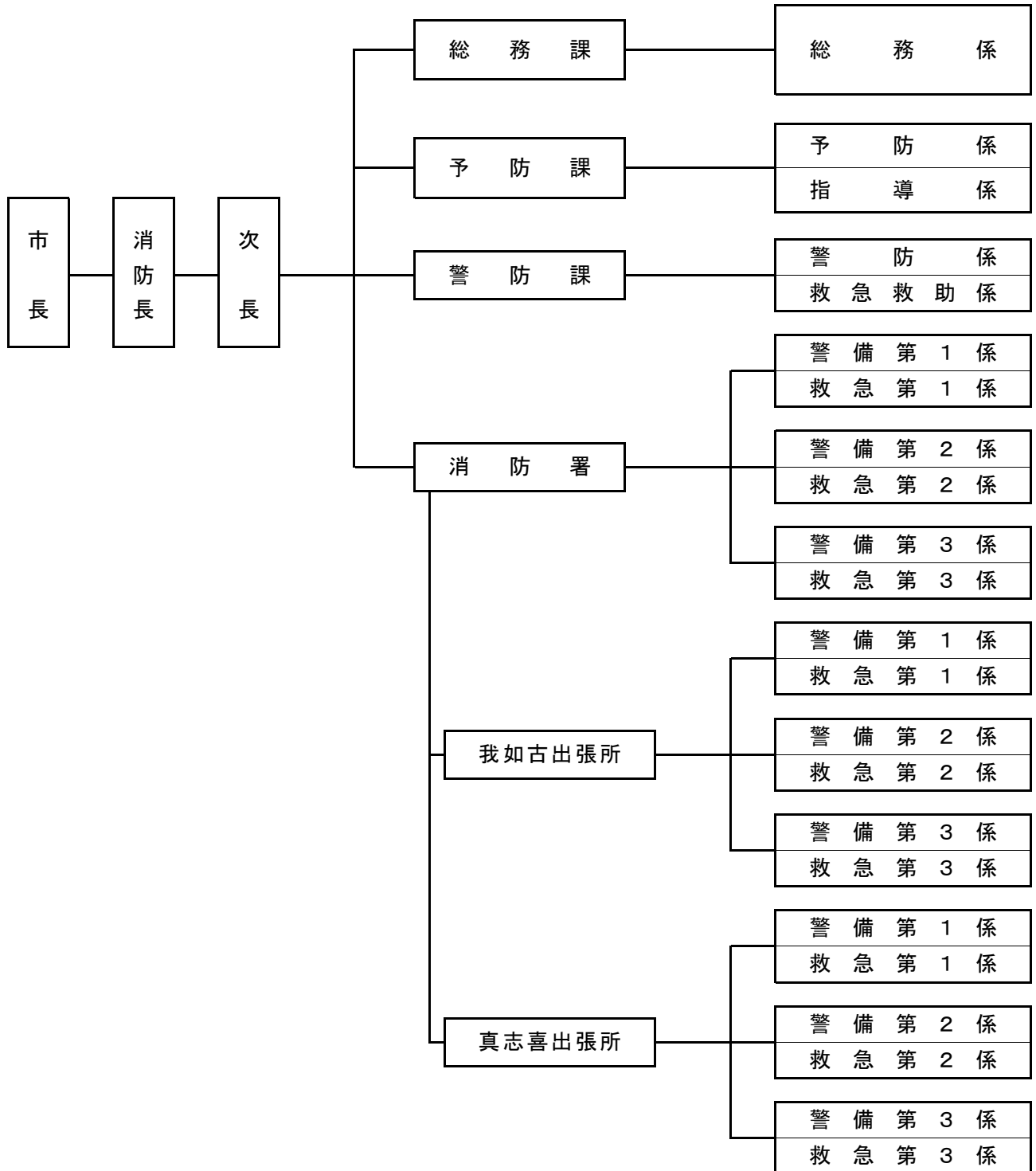
・過去5年の消防本部職員数(他機関等出向者含む)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
消防本部職員数	86	90	91	93	91	91

・過去5年の署所の一日当たりの配置人員

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
消防署	9	9	10	11	11	11
我如古出張所	6	6	6	6	6	6
真志喜出張所	6	6	6	6	6	6

宜野湾市消防本部組織図



消防本部・消防署の事務分掌

《総務課》

- 1 消防本部内の事業管理業務に係る次の事項に関すること。
 - (1) 部の諸計画の調整と立案
 - (2) 部の業務執行方針と統括
 - (3) 部の業務及び予算の執行管理
 - (4) 部の予算編成及び決算調整
 - (5) 部の事務改善、条例、規則、訓令の改廃等
 - (6) 部の伝票管理(支出負担行為、支出命令、調定行為等)
- 2 職員及び団員の任免、分限、服務、賞罰に関すること。
- 3 職員及び団員の公務災害補償に関すること。
- 4 職員及び団員の福利厚生に関すること。
- 5 職員の給与及び団員の報酬に関すること。
- 6 職員の配置及び勤務に関すること。
- 7 職員の貸与品に関すること。
- 8 職員の研修及び教養に関すること。
- 9 表彰に関すること。
- 10 儀式、その他諸行事に関すること。
- 11 公印の保管に関すること。
- 12 物品の維持管理に関すること。
- 13 施設の維持管理に関すること。
- 14 消防統計(火災及び救急救助統計を除く。)に関すること。
- 15 消防長会及び消防協会に関すること。
- 16 沖縄県消防通信指令施設運営協議会に関すること。
- 17 他の課の所管に属しないこと。

《予防課》

- 1 火災予防諸計画に関すること。
- 2 火災予防の指導及び広報に関すること。
- 3 防火管理者の選任及び指導に関すること。
- 4 危険物の許可、認可及び規制に関すること。
- 5 避難管理に関すること。
- 6 少量危険物及び指定可燃物等の規制に関すること。

- 7 煙火、高圧ガスその他特殊な物質の防火に関する事。
- 8 建築物の確認、許認可の同意に関する事。
- 9 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
- 10 予防査察及び防火指導に関する事。
- 11 火気及び電気使用設備、器具等の防火に関する事。
- 12 火災調査に関する事。
- 13 防災処理に関する事。
- 14 自衛消防組織の育成指導に関する事。
- 15 火災統計及び消防詳報に関する事。
- 16 災害による諸証明の発行に関する事。
- 17 火災予防条例に基づく諸届出の受理及び規制に関する事。

《警防課》

- 1 警防計画に関する事。
- 2 水火災その他災害の警戒防御に関する事。
- 3 消防通信機器の運用に関する事。
- 4 消防水利の設置計画及び対策に関する事。
- 5 各種講習会の計画に関する事。
- 6 消防署員及び団員の教養、訓練、演習等の計画実施に関する事。
- 7 消防自動車及び機械器具の整備点検及び維持管理に関する事。
- 8 消防自動車の登録及び車検に関する事。
- 9 消防相互応援協定に関する事。
- 10 災害報告及び統計に関する事。
- 11 消防団に関する事。
- 12 救急業務の講習、計画及び実施指導に関する事。
- 13 救急報告、救助報告及び救急救助統計に関する事。
- 14 医療機関その他関係機関との連絡調整に関する事。
- 15 火災予防条例第45条第2号及び第6号に基づく届出の受理に関する事。
- 16 気象情報に関する事。
- 17 その他警防庶務に関する事。

《消防署・出張所》

- 1 水火災、救急、救助、その他災害の警戒防御に関する事。
- 2 水火災、救急、救助、その他災害の受報及び出動指令に関する事。
- 3 水火災、救急及び救助業務の実施に関する事。
- 4 消防特別警戒の実施に関する事。
- 5 消防水利の調査及び点検に関する事。
- 6 消防通信に関する事。
- 7 気象情報及び火災警報に関する事。
- 8 自衛消防の訓練指導に関する事。
- 9 防火対象物及び消防対象物の立入検査に関する事。
- 10 火災、その他諸災害の原因及び損害の調査に関する事。
- 11 火災予防条例第45条(第2号及び第6号を除く。)に基づく届出の受理に関する事。
- 12 消防署員の教養、訓練、演習等の計画実施に関する事。
- 13 消防団員の訓練指導に関する事。
- 14 庁舎、消防用車両及び機械器具等の維持管理に関する事。
- 15 その他消防署庶務に関する事。







職員配置状況

令和2年4月1日現在

区分		階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計	
消防本部	消防長		1						1	
	総務課	総務課長		1						1
		総務係長			1					1
		総務係					2			2
		その他(派遣等)		1	2					3
	予防課	予防課長		1						1
		予防係長			1					1
		予防係				2				2
		指導係長			1					1
		指導係			1					1
	警防課	警防課長		1						1
		警防係長			1					1
		救急救助係長			1					1
		救急救助係					1			1
	小計			1	4	8	2	3	0	18
	消防署	消防署	次長兼署長		1					
管理担当主査					1					1
警備第1係					2	1	2	3		8
救急第1係					1	1		1		3
警備第2係					2	1	2	3		8
救急第2係					1	1		1		3
警備第3係					2	1	2	3		8
救急第3係					1	1		1		3
我如古出張所		所長		1						1
		警備第1係			1	1	1			3
		救急第1係			1	1		1		3
		警備第2係			1	1		1		3
		救急第2係			1	1		1		3
		警備第3係			1	1	1			3
真志喜出張所		所長		1						1
		警備第1係			1	1	1			3
	救急第1係			1	1		1		3	
	警備第2係			1	1		1		3	
	救急第2係			1	1		1		3	
	警備第3係			1	1	1			3	
	救急第3係			1	1		1		3	
小計			0	3	22	18	11	19	73	
合計			1	7	30	20	14	19	91	

消防職員定数及び実数

令和2年4月1日現在

区分 \ 階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	計
階級章								
定数	91							91
実数	1	7	30	20	14	19	0	91

年度別職員数

令和2年4月1日現在

年度 \ 階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	計
平成21年度	0	1	6	25	25	8	19	0	84
平成22年度	0	1	6	27	22	6	21	0	83
平成23年度	0	1	6	27	20	6	22	0	82
平成24年度	0	1	6	27	18	8	24	0	84
平成25年度	0	1	6	29	19	4	24	0	83
平成26年度	0	1	6	31	21	10	17	0	86
平成27年度	0	1	7	30	20	9	19	0	86
平成28年度	0	1	7	30	19	9	24	0	90
平成29年度	0	1	7	29	21	9	24	0	91
平成30年度	0	1	7	30	20	13	22	0	93
令和元年度	0	1	7	31	19	14	19	0	91
令和2年度	0	1	7	30	20	14	19	0	91

職員の階級別・年齢別構成表

令和2年4月1日現在

年齢	総数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
総数	91	1	7	30	20	14	19
18歳							
19歳							
20歳							
21歳							
22歳	2						2
23歳	4						4
24歳	3						3
25歳	2						2
26歳	4						4
27歳	2					1	1
28歳	4					3	1
29歳	3					1	2
30歳	5				2	3	
31歳	3					3	
32歳	4				4		
33歳	2				2		
34歳	6			1	5		
35歳	6			2	2	2	
36歳	4			1	3		
37歳	3			1	1	1	
38歳	3			3			
39歳	1			1			
40歳	2			2			
41歳							
42歳	1			1			
43歳							
44歳	1			1			
45歳							
46歳	4			3	1		
47歳	2			2			
48歳	5		1	4			
49歳	2			2			
50歳	3			3			
51歳	4		2	2			
52歳							
53歳							
54歳	2		2				
55歳	1		1				
56歳	1	1					
57歳	1			1			
58歳							
59歳	1		1				
60歳							
平均年齢		56.0	53.1	44.2	34.3	30.7	25.0
全体平均年齢		36.8					

職員の階級別・勤続年数別構成表

令和2年4月1日現在

年数	総数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
総数	91	1	7	30	20	14	19
0年	2						2
1年	1						1
2年	6						6
3年	5						5
4年	5						5
5年	4					4	
6年	3				1	2	
7年	3				1	2	
8年	8				2	6	
9年	3			1	2		
10年	4			1	3		
11年	5				5		
12年	4			1	3		
13年	5			4	1		
14年	1			1			
15年	2			1	1		
16年	0						
17年	2			2			
18年	1			1			
19年	0						
20年	0						
21年	1			1			
22年	3			3			
23年	0						
24年	1			1			
25年	13		2	10	1		
26年	4		1	3			
27年	0						
28年	0						
29年	0						
30年	0						
31年	2	1	1				
32年	1		1				
33年	2		2				
34年	0						
35年	0						
36年	0						
37年	0						
38年	0						
39年	0						
40年	0						

職員の教育訓練状況

令和2年4月1日現在

派遣先			年度別										計	
			昭和42年度 ～ 平成22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度		
消防大学校	教育総合	幹部科	2		1							1		4
	専科教育	警防科	6	1								1		8
		救助科	1			1								2
		火災調査科	5	1										6
		その他	11											11
沖縄県消防学校	初任教育		83	3	8	3	3	3	5	5	4	1	118	
	専科教育	警防科	28	2		2		1		1		1	35	
		救助科	22				1		2		2	2	29	
		特殊災害科	5				3		2		2		12	
		危険物科	6		1				1		1		9	
		予防査察科	12	2		2		1	1	1		1	20	
		火災調査科	7	2		2				1		1	13	
		予防専科	24										24	
	救急科(救急Ⅰ・Ⅱ含む)		124	3	7	2	2	3	4	5	2	1	153	
	幹部教育	初級幹部科	14											14
		中級幹部科	13											13
		上級幹部科	2							1		1	4	
	特別教育	水難救助研修	10	2		2		2		2		1	19	
		ポンプ操法指導員研修	9	1		2		2		2		1	17	
		防火管理指導員研修	2	2		2			1	1	1	1	10	
		救急救命士処置拡大研修						2	4	6	8	3	23	
新任救急隊員(救命士)研修							2	2		1		5		
気管挿管・薬剤投与追加講習		8	3	2	3	5						21		
救急救命研修所	救急救命士養成研修	9							1			10		
	薬剤投与追加講習	5	1									6		
	指導救命士研修						1	1	1			3		
県外研修	福岡市消防学校警防実務研修	4			1		1					6		
	福岡市消防学校予防実務研修	1	1	1	1	1	1	1				7		
	福岡市消防学校救急実務研修								1			1		
	市町村アカデミー研修	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13		
	東京消防庁受託研修				1					1		2		
その他研修	移動式クレーン・玉掛講習	30	3	3	3	3	3	2	2	2	3	54		
	硫化水素・酸素欠乏作業講習	10	3	3			3					19		
	チェーンソー取扱講習							2	2			4		
	圧縮空気保安講習							3	2	2	3	10		
	整備管理者選任前研修									4	7	11		
	可搬消防ポンプ等整備資格者講習									1		1		
計			457	31	27	28	19	26	32	37	32	28	717	

職員の資格・技能取得状況

令和2年4月1日現在

種別		階級別	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計	
免運転 許自動車	普通免許		1	7	30	20	14	19	91	
	大型免許		1	7	30	20	14	15	87	
予防 関 係	予防技術資格者	査察	1	2	4	2			9	
		設備等	1	1	4	2			8	
		危険物	1	1	2	1			5	
	予防技術検定合格者	査察		2	12	11	7	2	34	
		設備等			5	2			7	
		危険物		1	2	1			4	
	消防設備士免状	甲種							0	
		乙種		2	2	1	1	2	8	
	危険物取扱者免状	甲種							0	
		乙種	1	4	17	6	8	14	50	
	救急 関 係	救急救命士				20	9	1	5	35
		薬剤投与実施認定者				19	9	1	5	34
気管挿管実施認定者				13	3		1	17		
処置拡大実施認定者				18	9	1	5	33		
JPTECプロバイダー				10	4	9	12	35		
日赤	救急法指導員				1				1	
	救急適任者証				5	6	2		13	
そ の 他 の 免 許	潜水士免許		1	6	28	19	12	5	71	
	小型船舶免許			7	29	20	13	16	85	
	特殊無線技士	無線電話(甲)	1						1	
		無線電話(乙)		3					3	
		第二級陸上		3	5	3		2	13	
		第三級陸上		1	25	17	14	16	73	
	小型移動式クレーン運転技能講習修了者			5	14	16	3		38	
	玉掛技能講習修了者			5	10	14	3		32	
	酸素欠乏・硫化水素作業主任者			1	13	3			17	
	特定化学物質等作業主任者				3				3	
	電気工事士免許					1			1	
	第2種衛生管理者免許		1	3	7				11	
	安全衛生推進者養成講習修了者			2	8		1		11	
	ロープ高所作業特別教育					1			1	
	フルハーネス型墜落制止用器具特別教育					1			1	

消 防 職 員 表 彰

令和2年4月1日現在

表 彰 者		年 度					計
		～平成 26年度	平 成 27年度	平 成 28年度	平 成 29年度	平 成 30年度	
総 務 大 臣	総務大臣表彰（緊援隊）	1					1
消 防 庁 長 官	長 官 功 労 章	5					5
	永 年 勤 続 功 労 章	4			1		5
	表 彰 旗	1					1
全 国 消 防 長 会 長	消 防 特 別 功 労 者 表 彰	2					2
	消 防 行 政 功 労 者 表 彰	1					1
	20 年 勤 続 功 労 者 表 彰	64					64
	25 年 勤 続 功 労 者 表 彰	50					50
	30 年 勤 続 功 労 者 表 彰	34	1	2	2	2	41
	35 年 勤 続 功 労 者 表 彰	6					6
全 国 消 防 協 会 長	全 国 優 良 消 防 職 員 表 彰	23			1	1	25
日 本 消 防 協 会 長	功 績 章	10					10
	精 績 章	28					28
	勤 続 章	41		3	2	2	48
沖 縄 県 知 事	功 労 章	4					4
	永 年 勤 続 功 労 章	25		1		1	28
沖 縄 県 消 防 協 会 長	優 良 消 防 職 員 表 彰	94					94
	勤 続 章	85		1		2	88
	水 難 救 助 表 彰	1					1
	特 別 表 彰	3					3
沖 縄 県 消 防 協 会 中 部 地 区 支 会 長	20 年 勤 続 表 彰	58	10	1	1	3	73
	30 年 勤 続 表 彰	41		3	2		46
安 全 協 会（支 部 長） （ 連 合 会 会 長 ）	優 良 運 転 者 表 彰	12					12
	〃	9					9
宜 野 湾 市 長	善 行 章（出 張 所 警 備 第 二 係）	1					1
	優 良 消 防 職 員 表 彰	1					1
	15 年 勤 続 表 彰	9					9

元 消 防 職 団 員 叙 勲 受 章 者

令和2年4月1日現在

階 級	氏 名	叙 勲 種 別	勲 章 名	受 章 年 月 日
元 消 防 司 令 長	大 城 仁 幸	消 防 関 係 者 叙 勲	勲 五 等 双 光 旭 日 章	平 成 15 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	知 名 朝 勇	第 4 回 危 険 業 務 従 事 者 叙 勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 17 年 4 月 29 日
元 消 防 司 令	多 和 田 真 忠	第 5 回 危 険 業 務 従 事 者 叙 勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 17 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	多 和 田 一 夫	第 6 回 危 険 業 務 従 事 者 叙 勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 18 年 4 月 29 日
元 副 団 長	大 城 正 吉	平 成 21 年 秋 の 叙 勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 21 年 11 月 3 日
元 消 防 監	多 和 田 真 隆	第 14 回 危 険 業 務 従 事 者 叙 勲	瑞 宝 双 光 章	平 成 22 年 4 月 29 日
元 消 防 監	上 江 洲 勇	第 19 回 危 険 業 務 従 事 者 叙 勲	瑞 宝 双 光 章	平 成 24 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	多 和 田 眞 光	第 22 回 危 険 業 務 従 事 者 叙 勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 26 年 4 月 29 日
元 消 防 司 令 長	呉 屋 正 成	第 23 回 危 険 業 務 従 事 者 叙 勲	瑞 宝 双 光 章	平 成 26 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令 長	仲 村 春 栄	第 25 回 危 険 業 務 従 事 者 叙 勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 27 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	泉 川 光 喜	第 27 回 危 険 業 務 従 事 者 叙 勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 28 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	古 波 藏 正 英	第 29 回 危 険 業 務 従 事 者 叙 勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 29 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	伊 佐 禎 一 郎	第 31 回 危 険 業 務 従 事 者 叙 勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 30 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令 長	大 嶺 清 光	第 33 回 危 険 業 務 従 事 者 叙 勲	瑞 宝 双 光 章	令 和 元 年 11 月 3 日

消防力の整備指針と現有消防力との比較

令和2年4月1日現在

区 分	車 両 等			人 員		
	算定数	整備数	不足数	算定数	現員数	不対算 不足定 数に
署 所	3	3	0	ア	イ	ア－イ
警 防 要 員	指 揮 車	1	1	0	9	—
	消防ポンプ自動車	6	6	0	88	—
	はしご車	1	1	0	0 注1	—
	救助工作車	1	1	0	16	—
	特殊車等	1	1	0	0 注1	—
	救急自動車	5	4	1	9 注2	—
	小 計	15	14	1	122	73
通 信 員	—	—	—	3	3 注3	—
予 防 要 員	—	—	—	17	9	8
専任の予防要員	—	—	—	14	6	
警防要員をもって充てる人員数	—	—	—	3	3	
総務事務等の執行の要員	—	—	—	9	9	0
総 数	15	14	1	148 注4	91 注4	57

◎算定数（ア）に対する充足率 91人÷148人≒61.5%

注1 はしご車及び特殊車等（水槽車）については、乗換運用となっています。

注2 救急車4台のうち3台は兼務運用のため算定数には計上していません。

注3 通信員の現員数にあつては沖縄県消防指令センター派遣職員となっています。

注4 人員における算定数及び現員数の総数は「警防要員」「通信員」「専任の予防要員」「総務事務等の執行の要員」を足した数となっています。

面積・人口・世帯数に対する消防力


令和2年4月1日現在

区 分	職 員 1 人 当 り	救 急 車 1 台 当 り	ポ ン プ 車 1 台 当 り
面 積	0.22 K ^m ²	4.95 K ^m ²	3.30 K ^m ²
(19.8 K ^m ²)			
人 口	1,094 人	24,887 人	16,592 人
(99,549 人)			
世 帯 数	496 世帯	11,283 世帯	7,522 世帯
(45,133 世帯)			

消防相互応援協定等の状況

令和2年4月1日現在

協定の名称	協定機関	内容	締結年月日
消防相互援助協約	バトラー消防本部(米軍基地内)	火災 その他の災害	平成23年1月19日
沖縄自動車道における消防相互応援協定	那覇市 東部消防組合 浦添市 中城北中城消防組合 沖縄市 うるま市 金武地区消防衛生組合 名護市	火災、救急 その他の災害	平成30年8月31日
沖縄自動車道における消防及び救急等の業務に関する覚書	那覇市 東部消防組合 浦添市 中城北中城消防組合 沖縄市 うるま市 金武地区消防衛生組合 名護市 沖縄県防災危機管理課 西日本高速道路	火災、救急 その他の災害	平成31年2月18日
緊急消防援助隊要綱	全国消防機関	大規模災害	平成7年10月30日
救急救命士の業務運用に関する協定	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	救急業務	平成12年2月25日
沖縄県消防相互応援協定	名護市、うるま市、沖縄市、浦添市、那覇市、豊見城市、糸満市、久米島町、宮古島市、石垣市 国頭地区行政事務組合 本部町今帰仁村消防組合 金武地区消防衛生組合 比謝川行政事務組合、中城北中城消防組合 東部消防組合、島尻消防清掃組合	火災、救急 その他の災害	平成18年8月1日
救急救命士に対する医師の包括的具体的指示及び病院実習に関する協定	沖縄県立中部病院	救急業務	平成16年4月1日
救急救命士に対する医師の包括的具体的指示及び病院実習に関する協定	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	救急業務	平成16年8月2日
救急救命士に対する医師の包括的具体的指示及び病院実習に関する協定	沖縄県立 中部病院 特定医療法人沖縄徳洲会 中部徳洲会病院 社会医療法人敬愛会 中頭病院 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 医療法人緑水会 宜野湾記念病院	救急業務	平成19年4月1日
災害・事故等における医師等の現場派遣に関する協定書	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	救急業務	平成24年3月21日
災害・事故等における医師等の現場派遣に関する協定書	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	救急業務	平成29年4月1日
沖縄県中部保健所管内におけるエボラ出血熱の患者の移送協力に関する協定書	沖縄県中部保健所	救急業務	令和元年11月1日



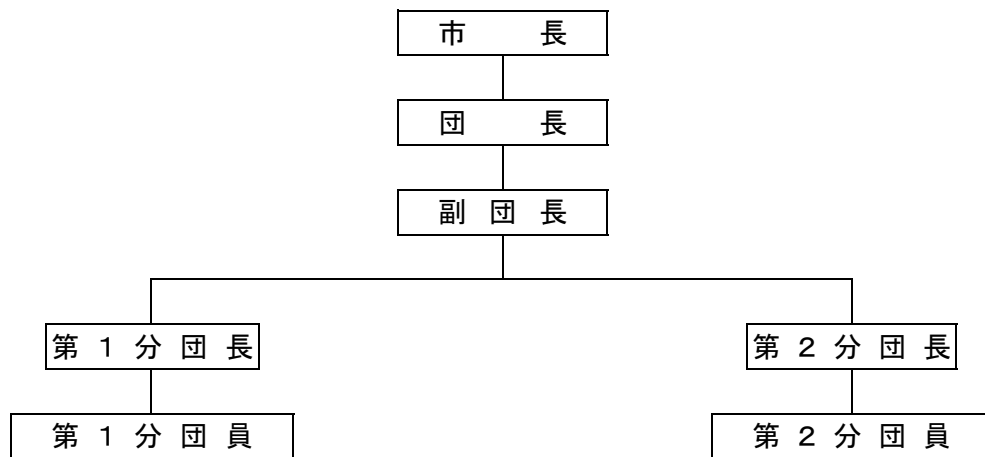
消防団関係

宜野湾市消防団は”地域に根差した活動”をモットーに市内に在住・在勤している30名が活動しています。月例の訓練や防災イベントへの出席を通し、地域住民の防災意識向上に携わっています。

～令和元年度の主な活動実績～			
9月	中部地区支会消防団操法大会	ポンプ車操法(2位)・小型ポンプ操法(男子2位、女子4位)	
11月	全国女性消防操法大会	軽可搬ポンプ操法	24位入賞。

宜野湾市消防団組織図

令和2年4月1日現在



消防団員定数及び実数

令和2年4月1日現在

階級 区分	団長	副団長	分団長	団員		計
				男性	女性	
定数	30					30
実数	1	1	2	15	11	30
18～25歳				2		2
26～30歳				1	3	4
31～35歳						0
36～40歳				7	4	11
41～45歳				2		2
46～50歳		1	2	2	3	8
51～55歳				1		1
56歳～	1				1	2
平均年齢	64.0	50.0	47.0	38.1	39.1	40.3

消防団員の報酬及び費用弁償額

令和2年4月1日現在

	団長	副団長	分団長	団員
年額報酬	66,000円	54,000円	42,000円	24,000円
費用弁償	3,000円(1日につき)			

消 防 団 員 活 動 状 況

令和元年度

月 別	区 分	火 災		風 水 害 等		警 戒		訓 練 ・ 研 修		そ の 他		計	
		回	人 員	回	人 員	回	人 員	回	人 員	回	人 員	回	人 員
4 月						1	9	1	17	2	21	4	47
5 月								1	17	3	19	4	36
6 月								1	16	2	20	3	36
7 月								7	120	1	16	8	136
8 月						1	7	9	149	2	9	12	165
9 月						2	9	12	176			14	185
10 月								10	56	2	3	12	59
11 月								4	12	2	2	6	14
12 月						1	3	1	12			2	15
1 月						1	3	1	13	2	23	4	39
2 月										5	5	5	5
3 月										1	2	1	2
計						6	31	47	588	22	120	75	739

消 防 団 員 の 装 備

令和2年4月1日現在

装 備 別	防 火 衣 一 式	救 助 用 半 長 靴	特 定 小 電 力 無 線 機	救 命 衣	投 光 器	拡 声 器	AED
装 備 数	22	29	36	28	3	8	1

消 防 団 員 表 彰

令和2年4月1日現在

表 彰 別	年 度 別	~	平 成	平 成	平 成	平 成	令 和	計
		平 成	平 成	平 成	平 成	平 成	元 年 度	
		26	27	28	29	30	元 年 度	
		年 度	年 度	年 度	年 度	年 度		
消 防 庁 長 官	消 防 団 地 域 活 動 表 彰 (団 体)	1						1
	表 彰 旗	1						1
	功 勞 章						1	1
沖 縄 県 知 事	永 年 勤 続 功 勞 章		1					1
日 本 消 防 協 会 長	功 績 章		1					1
	精 績 章	2	1	2			1	6
	勤 続 章	1						1
	竿 頭 綬 (団 体)	1						1
沖 縄 県 消 防 協 会 長	功 勞 章	2						2
	永 年 勤 続 章	17						17
	優 良 消 防 団 員 章	31						31
沖 縄 県 消 防 協 会 長 中 部 地 区 支 会 長	功 勞 表 彰							
	永 年 勤 続 表 彰 (10 年)	20		1		2		23
	永 年 勤 続 表 彰 (20 年)	6	1	3				10
	永 年 勤 続 表 彰 (30 年)	2						2

消防予算

令和元年度消防予算・決算及び令和2年度消防予算

(歳入)

(単位:円)

款	項	令和元年度当初予算	令和元年度決算見込	令和2年度当初予算
使用料及び手数料	2. 手数料	261,000	591,050	261,000
国庫支出金	2. 国庫補助金	54,520,000	54,802,000	152,561,000
県支出金	2. 県補助金	3,490,000	3,490,000	3,490,000
諸収入	4. 雑入	8,581,000	9,384,814	8,625,000
歳入合計		66,852,000	68,267,864	164,937,000

(歳出)

(単位:円)

目	節	令和元年度当初予算	令和元年度決算見込	令和2年度当初予算
常備消防費	報酬	0	0	3,359,000
	給料	295,527,000	293,378,919	303,744,000
	職員手当等	247,010,000	247,120,383	247,690,000
	共済費	115,264,000	116,827,260	119,345,000
	賃金	3,274,000	3,117,700	0
	報償費	12,000	7,000	12,000
	旅費	1,850,000	719,980	1,597,000
	需用費	23,720,000	24,192,706	24,619,000
	役務費	7,354,000	7,099,522	8,161,000
	委託料	5,458,000	4,767,298	6,590,000
	使用料及び賃借料	385,000	108,083	873,000
	工事請負費	908,000	897,600	1,669,000
	原材料費	76,000	71,616	48,000
	備品購入費	4,831,000	4,606,674	6,543,000
	負担金、補助及び交付金	20,420,000	20,171,699	21,388,000
	補償、補填及び賠償金	0	16,500	0
	公課費	992,000	964,900	775,000
非常備消防費	報酬	828,000	826,000	828,000
	旅費	2,899,000	2,893,720	2,077,000
	需用費	212,000	198,936	502,000
	役務費	66,000	0	0
	備品購入費	997,000	723,405	86,000
	負担金、補助及び交付金	2,052,000	2,050,625	2,053,000
消防施設費	職員手当等	388,000	368,808	539,000
	旅費	104,000	48,440	0
	需用費	11,000	10,902	148,000
	役務費	24,000	22,720	179,000
	委託料	500,000	496,800	13,344,000
	工事請負費	57,640,000	57,637,000	315,325,000
	備品購入費	40,142,000	35,587,200	17,392,000
	負担金、補助及び交付金	7,545,000	7,545,000	13,227,000
	公課費	33,000	32,800	9,000
歳出合計		840,522,000	832,510,196	1,112,122,000

市予算と消防予算の推移

(単位:千円)

区分 年度別	市予算総額(当初)	消防予算(当初)	総予算に占める 消防予算(%)	備 考
平成23年度	32,127,000	660,308	2.1	
平成24年度	33,540,000	662,510	2.0	
平成25年度	37,000,000	754,014	2.0	
平成26年度	39,615,000	859,925	2.2	
平成27年度	36,897,000	862,613	2.3	
平成28年度	40,205,000	712,819	1.8	
平成29年度	42,656,000	888,552	2.1	
平成30年度	45,354,000	856,337	1.9	
令和元年度	44,840,000	840,522	1.9	
令和2年度	46,090,000	1,112,122	2.4	

市民1人当り・1世帯当り消防費の推移

区分 年度別	1人当り(円)	1世帯当り(円)	算 定 の 基 礎	
			人 口	世 帯 数
平成23年度	7,082	16,864	93,232	39,154
平成24年度	6,995	16,528	94,715	40,084
平成25年度	7,940	18,847	94,961	40,008
平成26年度	8,985	21,202	95,706	40,559
平成27年度	8,943	20,935	96,453	41,205
平成28年度	7,334	17,003	97,194	41,924
平成29年度	9,098	20,828	97,662	42,662
平成30年度	8,752	19,802	97,845	43,245
令和元年度	8,533	19,051	98,502	44,119
令和2年度	11,172	24,641	99,549	45,133


令和2年度予算概要

<令和元年度予算との比較>

- ・ 令和2年度消防当初予算は11億1,212万2千円で、令和元年度と比べ、2億7,160万円増加し、前年度比約32%の増。
- ・ 市総予算に占める消防予算の割合2.4%は、前年度比より0.5%の増。
- ・ 「市民1人当たり消防費」11,172円は、前年度比約31%の増。
「1世帯当たり消防費」24,641円は、前年度比約29%の増。

<令和2年度の主な事業>

- ・ 我如古出張所改築事業(建築工事等) ……………340,934千円
- ・ 水難救助用バイク式購入事業 ……………6,002千円



消防施設機械

◀ 過去1年間の施設機械状況 ▶

- ◇ 防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用し、消防署我如古出張所の第1期工事に着手しました。
- ◇ 消火栓が11栓増加し、市内の総数は576栓となりました。
- ◇ 令和元年度特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、消防署の高規格救急自動車を更新整備しました。この高規格救急自動車は、最新の資機材を装備しているため、速やかな救命活動を開始することができます。

消防本部及び署所の名称・位置

名 称	位 置
宜野湾市消防本部	宜野湾市字野嵩677番地
宜野湾市消防署	〃
宜野湾市消防署我如古出張所	宜野湾市我如古三丁目2番1号
宜野湾市消防署真志喜出張所	宜野湾市真志喜三丁目25番3号

消防庁舎

面積等 区 別	敷地面積	構 造	建築面積	建 築	竣工年月日
				延べ面積	
消防本部 消防署	3,226.00㎡	RC造2階建	1,004.55㎡	1,598.25㎡	昭和60年 11月26日
我如古出張所	951.41㎡	RC造2階建	210.65㎡	348.15㎡	昭和53年 3月18日
真志喜出張所	2,358.92㎡	RC造2階建	554.35㎡	676.99㎡	平成7年 3月23日
訓練塔(主塔)		RC造5階建	38.62㎡	143.10㎡	平成8年 3月21日
訓練塔(副塔)		RC造3階建	36.00㎡	108.00㎡	
計	6,536.33㎡		1,834.17㎡	2,838.49㎡	

消防通信施設

1. 消防業務用有線電話回線

令和2年4月1日現在

所属	用途別	電話番号	備考
消防本部	総務課	098-892-2299	災害時優先電話
	予防課	098-892-1850	
	警防課	098-896-2548	
	消防署	098-892-1199	災害時優先電話
	消防署FAX兼用	098-892-3057	
	FAX専用	098-892-5300	
我如出張所	代表	098-897-1210	
	FAX専用	098-897-5899	
真志喜出張所	代表	098-890-4399	
	FAX専用	098-890-3953	

2. 消防救急デジタル無線(基地局2局、移動局46局)

令和2年4月1日現在

呼出名称	無線局	電波の型式	空中線電力	設置(配置)場所
おきしょうぎのわん	基地局	5K80G1E 5K80G1D	20W	消防本部(署)
おきしょうえはら	〃	〃	10W	西原町上原高台公園
しょうぼうぎのわん	陸上移動局 (卓上)	〃	5W	消防本部(署)
しょうぼうがねこ	〃	〃	〃	我如古出張所
しょうぼうましき	〃	〃	〃	真志喜出張所
ぎのわんかはん1	陸上移動局 (可搬)	〃	〃	消防本部(署)
ぎのわんしき1	陸上移動局 (車載)	〃	〃	〃
ぎのわんきゆうきゆう1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんきゆうきゆう2	〃	〃	〃	〃
ぎのわんぼんぷ1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんぼんぷ2	〃	〃	〃	〃
ぎのわんたんく1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんきゆうじよ1	〃	〃	〃	〃

呼出名称	無線局	電波の型式	空中線電力	設置(配置)場所
ぎのわんはしご1	陸上移動局 (車載)	5K80G1E 5K80G1D	5W	消防本部(署)
ぎのわんしれい1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんよぼう1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんしえん1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんゆそう1	〃	〃	〃	〃
がねこしき1	〃	〃	〃	我如古出張所
がねこきゆうきゆう1	〃	〃	〃	〃
がねこぼんぷ1	〃	〃	〃	〃
がねこぼんぷ2	〃	〃	〃	〃
ましきしき1	〃	〃	〃	真志喜出張所
ましききゆうきゆう1	〃	〃	〃	〃
ましきぼんぷ1	〃	〃	〃	〃
ましきぼんぷ2	〃	〃	〃	〃
ましきすいなん1	〃	〃	〃	〃
ましきせきさい1	〃	〃	〃	〃
ぎのわん101~111	陸上移動局 (携帯)	〃	2W	消防本部(署)
がねこ101~104	〃	〃	〃	〃
ましき101~105	〃	〃	〃	〃

3. 400MHzアナログ無線(署活波33局)

令和2年4月1日現在

呼出名称	無線局	電波の型式	空中線電力	設置(配置)場所
ぎのわん201~218	陸上移動局 (携帯)	F3E F2D	1W	消防本部(署)
がねこ201~206	〃	〃	〃	我如古出張所
ましき201~209	〃	〃	〃	真志喜出張所

4. 150MHzアナログ無線(防災相互波3局)

令和2年4月1日現在

呼出名称	無線局	電波の型式	空中線電力	設置(配置)場所
ぎのわんぼうさい1~3	陸上移動局 (携帯)	16KOF3E	5W	真志喜出張所

消 防 水 利 の 現 況

令和2年4月1日現在

種 別 行政 区 別	消 火 栓	防 火 水 そ う	学 校 プ ー ル	合 計
野 嵩 1 区	34	1		35
野 嵩 2 区	7			7
野 嵩 3 区	6			6
普 天 間 1 区	8		1	9
普 天 間 2 区	8			8
普 天 間 3 区	27			27
新 城 区	11			11
喜 友 名 区	17	1 (1)		18 (1)
伊 佐 区	22	3 (1)		25 (1)
大 山 区	61	5 (3)	1	67 (3)
真 志 喜 区	32	3 (2)	1	36 (2)
宇 地 泊 区	27	2 (2)		29 (2)
大 謝 名 区	30	2 (1)		32 (1)
嘉 数 区	35	2 (1)		37 (1)
真 栄 原 区	48	2 (2)		50 (2)
我 如 古 区	49	4 (3)		53 (3)
長 田 区	47		1	48
宜 野 湾 区	31	2 (1)	1	34 (1)
愛 知 区	39	1	1	41
中 原 区	37		1	38
計	576	28 (17)	7	611 (16)

()は私設

算 定 数	整 備 数	不 足 数	比 率
515	449	66	87.2%

※「算定数」「整備数」は、消防施設整備計画実態調査に用いる算定方式(メッシュ方式)にて算定した数。

現 有 消 防 車 両

令和2年4月1日現在

種 別	現 場 指 揮 車	予 防 広 報 車	指 揮 広 報 車	指 揮 支 援 車	連 絡 車	資 機 材 搬 送 車	防 災 活 動 車	自 高 規 格 救 急 車	水 槽 付 消 防 車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	救 助 工 作 車	自 動 消 防 車	は し ご 付 消 防 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付 車	緊 急 人 員 輸 送 車	救 急 予 備 車	ポ ン プ 予 備 車	計
台 数	1	1	1	1	2	3	1	4	4	3	1	1	1	1	1	2	1	28

消防用車両配置一覽表

令和2年4月1日 現在

名称	車名	登録年月日	経過年数	車種	乗車定員	車両番号	排気量(ℓ)	ポンプ製作所・規格	積載水(ℓ)	総重量(kg)	補助別
消防本部											
1号車	現場指揮車	平成28年2月1日	4年	ニッサン	8人	沖縄 801 す 1	2.48			2,410	平成27年度石油備蓄
2号車	予防広報車	平成19年2月23日	13年	トヨタ	8人	沖縄 800 す 444	2.36			2,190	平成18年度石油備蓄
4号車	連絡車	平成22年6月30日	9年	マツダ	4人	沖縄 580 ね 2226	0.65			1,030	単 独
19号車	指揮支援車	平成26年1月31日	6年	マツダ	5人	沖縄 830 せ 19	2.18			1,915	平成25年度石油備蓄
消防署											
5号車	資機材搬送車	平成19年12月26日	12年	ニッサン	5人	沖縄 800 す 5	1.99			2,955	平成19年度石油備蓄
6号車	高規格救急自動車	令和2年2月13日	0年	トヨタ	8人	沖縄 830 て 6	2.69			3,120	令和元年度防衛調整交付金
12号車	水槽付消防ポンプ自動車	平成30年3月22日	2年	日 野	6人	沖縄 830 ち 12	5.12	日本機械A-2	2,000	10,660	平成29年度防衛調整交付金
13号車	水槽付消防ポンプ自動車	平成18年2月21日	14年	いすゞ	6人	沖縄 831 せ 119	7.79	森田ポンプA-2	2,000	12,340	平成17年度総務省消防庁
15号車	救助工作車	平成17年3月18日	15年	いすゞ	6人	沖縄 800 は 668	9.83			14,280	平成16年度防衛庁
16号車	はしご付消防自動車(40m級)	平成12年6月8日	19年	日 野	6人	沖縄 830 と 119	20.78			19,890	平成11年度総務省消防庁
17号車	小型動力ポンプ付水槽車	平成27年3月20日	5年	日 野	3人	沖縄 830 そ 17	6.40	シバウラB-2	5,000	12,065	平成26年度防衛調整交付金
18号車	緊急人員輸送車	平成21年11月30日	10年	三菱	25人	沖縄 830 せ 18	4.89			5,305	平成21年度石油備蓄
23号車	高規格救急自動車	平成28年1月28日	4年	トヨタ	8人	沖縄 830 た 23	2.69			3,080	平成27年度防衛調整交付金
24号車	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車	令和2年2月20日	0年	いすゞ	6人	沖縄 800 せ 1032	2.99	森田ポンプA-2		4,840	令和元年度消防庁消防団無償貸付車両
予備車	水槽付消防ポンプ自動車	平成13年8月21日	18年	いすゞ	6人	沖縄 830 ね 119	8.22	日本機械A-2	2,000	9,460	平成12年度総務省消防庁
予備車	高規格救急自動車	平成22年3月12日	10年	トヨタ	7人	沖縄 830 そ 6	2.69			3,135	平成21年度防衛省
我如古出張所											
3号車	指揮広報車	平成21年3月13日	11年	ニッサン	8人	沖縄 800 た 3	3.49			2,310	平成20年度石油備蓄
7号車	高規格救急自動車	平成31年3月14日	1年	トヨタ	7人	沖縄 800 な 7	2.69			3,185	平成30年度防衛調整交付金
11号車	水槽付消防ポンプ自動車	平成20年1月24日	12年	三菱	6人	沖縄 830 す 11	7.54	森田ポンプA-1	2,000	10,180	平成19年度総務省消防庁
22号車	消防ポンプ自動車(CD-1)	平成25年5月27日	6年	日 野	5人	沖縄 830 せ 22	4.00	森田ポンプA-2	600	6,375	平成24年度一括交付金
真志喜出張所											
8号車	高規格救急自動車	平成26年3月6日	6年	トヨタ	7人	沖縄 800 の 8	2.69			3,195	平成25年度防衛省
9号車	資機材搬送車	平成15年3月19日	17年	トヨタ	6人	沖縄 830 ら 119	2.98			3,720	平成14年度石油備蓄
10号車	防災活動車	平成20年2月22日	12年	マツダ	6人	沖縄 800 す 1330	1.78			2,585	平成19年度日本消防協会(寄贈)
14号車	水槽付消防ポンプ自動車	平成16年2月25日	16年	いすゞ	6人	沖縄 830 る 119	8.22	森田ポンプA-2	4,000	12,860	平成15年度総務省消防庁
20号車	資機材搬送車	平成22年12月27日	9年	三菱	3人	沖縄 830 さ 20	2.97			3,805	平成22年度石油備蓄
21号車	消防ポンプ自動車(CD-1)	平成25年5月27日	6年	日 野	5人	沖縄 830 す 21	4.00	森田ポンプA-2	600	6,375	平成24年度一括交付金
連 絡 車	連絡車	平成13年2月22日	19年	ニッサン	5人	沖縄 800 さ 4945	2.98			1,885	平成12年度石油備蓄
救助艇	ジェットスキー	平成22年2月18日	10年	シードゥ	3人	第296 - 24567号					単 独
〃	ゴムボート	平成25年1月21日	7年	アキレス	8人	第296 - 25284号					平成24年度一括交付金
予備車	高規格救急自動車	平成19年2月28日	13年	ニッサン	7人	沖縄 831 た 119	3.49			3,175	平成18年度防衛庁

全国統一防火標語（年度別）

昭和45年度 防火三百六十五日	平成8年度 便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
昭和46年度 いま燃えようとしている火がある	平成9年度 つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
昭和47年度 慣れた火に 新たな注意	平成10年度 気をつけて はじめはすべて 小さな火
昭和48年度 隣にも声かけあってよい防火	平成11年度 あぶないよ ひとりぼっちにした その火
昭和49年度 生活の一部にしよう火の点検	平成12年度 火をつけた あなたの責任 最後まで
昭和50年度 幸せを明日につなぐ火の始末	平成13年度 たしかめて。火を消してから 次のこと
昭和51年度 火災は人災 防ぐはあなた	平成14年度 消す心 置いてください 火のそばに
昭和52年度 使う火を消すまで離すな目と心	平成15年度 その油断 火から炎へ 災いへ
昭和53年度 それぞれの持場で生かせ火の用心	平成16年度 火は消した？ いつも心に きいてみて
昭和54年度 これくらいと思う油断を火が狙う	平成17年度 あなたです 火のあるくらしの見はり役
昭和55年度 あなたです！ 火事を出すのも防ぐのも	平成18年度 消さないであなたの心の注意の火
昭和56年度 毎日が防火デーです ぼくの家	平成19年度 火は見てる あなたが離れる その時を
昭和57年度 火の用心 心で用心 目で用心	平成20年度 火のしまつ 君がしなくて 誰がする
昭和58年度 点検は防火のはじまりしめくくり	平成21年度 消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
昭和59年度 ”あとで”より”いま”が大切 火の始末	平成22年度 「消したかな」あなたを守る合言葉
昭和60年度 怖いのは「消したつもり」と「消したはず」	平成23年度 消したはず 決めつけしないで もう一度
昭和61年度 防火の大役 あなたが主役	平成24年度 消すまでは 出ない行かない 離れない
昭和62年度 消えたかな！ 気になるあの火もう一度	平成25年度 消すまでは 心の警報 ONのまま
昭和63年度 その火 その時 すぐ始末	平成26年度 もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
平成元年度 おとなりに あげる安心 火の始末	平成27年度 無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成2年度 まず消そう 火への鈍感 無関心	平成28年度 消しましょう その火その時 その場所で
平成3年度 毎日が 火の元警報 発令中	平成29年度 火の用心 ことばを形に 習慣に
平成4年度 点検を重ねて築く”火災ゼロ”	平成30年度 忘れてない？ サイフにスマホに火の確認
平成5年度 防火の輪 つなげて広げて なくす火事	令和元年度 ひとつずつ いいね！で確認 火の用心
平成6年度 安心の 暮らしの中心 火の用心	令和2年度 その火事を 防ぐあなたに 金メダル
平成7年度 災害に 備えて日頃の 火の用心	

予 防

“訓練で
確かな信頼
積み重ね”

(令和2年度危険物安全週間推進標語)

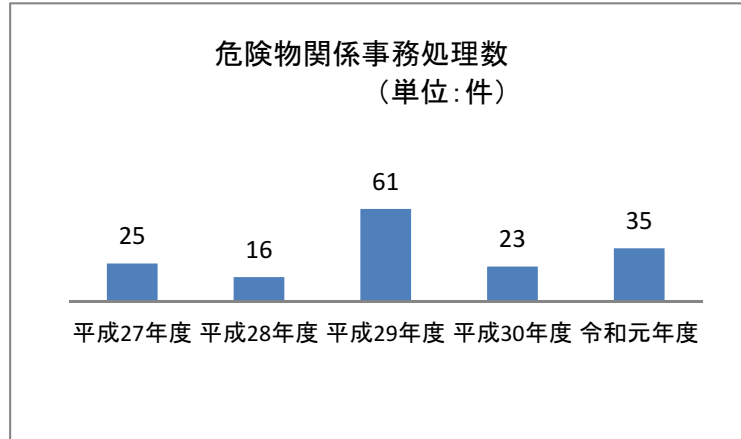
火災予防概要

◇危険物製造所等について

本市における危険物事業所数は、同規模本部と比較して少ない状況にあります。

都市計画法における用途地域指定において、居住系地域が多く、商工業系地域が少ないことに起因するほか、市の面積の3分の1を米軍普天間飛行場が占めていることも関係しているものと考えられます。

令和元年度の事務処理件数は、前年に比べ12件増加しております。継続した立入検査の実施により、危険物施設関係者の保安に関する意識の向上が図られ、施設の適切な維持、管理が意欲的に実施された結果と考えます。



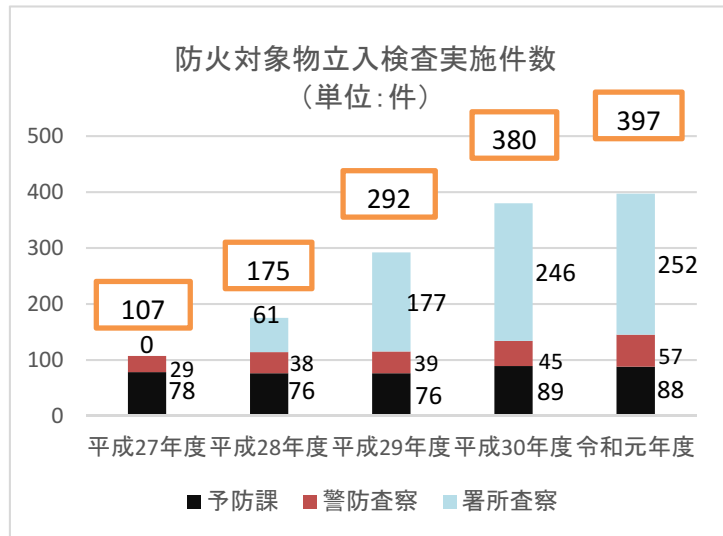
◇防火対象物の実態について

・本市における防火対象物数は2,601棟で、今後も増え続けることが予想されます。

・防火対象物立入検査の実施件数は397件、消防訓練実施の際に立会を希望する防火対象物の関係者に対して、訓練立会し防火意識向上の支援を行っています。

・各種届出状況は、「消防用設備等点検結果報告書」が前年度より123件増加しております。

これは、未届けの建物関係者に対する通知文の送付並びに立入検査による指導が増加の要因と考えられます。



数量別危険物施設の現況

令和2年4月1日現在

区分 数量別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所					
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計
5倍以下	27				5	7		7		19				8	8
5倍を超え 10倍以下	13		2	2		4				8	2			3	5
10倍を超え 50倍以下	17			5		4				9	1	3		4	8
50倍を超え 100倍以下	1							1		1					0
100倍を超え 200倍以下	6									0	6				6
200倍を 超えるもの	11					1				1	10				10
合計	75	0	2	7	5	16	0	8	0	38	19	3	0	15	37

危険物施設事務処理状況

令和2年4月1日現在

製造所等 区分	合計	製造所	貯蔵所							取扱所					
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計
許可	設置	1						1		1					0
	変更	11						1		1	9			1	10
完成検査	設置	1						1		1					0
	変更	11						1		1	9			1	10
仮使用承認	9									0	9				9
仮貯蔵取扱承認	0									0					0
完成検査前 検査	水張・水圧	0								0					0
	基礎地盤	0								0					0
施設廃止	2							1		1	1				1
合計	35	0	0	0	0	0	0	5	0	5	28	0	0	2	30

危険物関係事務手数料収入状況（令和元年度）

（単位：円）

種別 月別	手 数 料							計
	製造所等許可審査		製造所等完成検査		仮使用・取扱	完成検査前検査		
	設置許可	変更許可	設 置	変 更	承 認	水 張	水 圧	
4 月		26,000		13,000	5,400			44,400
5 月		26,000			5,400			31,400
6 月		13,000		26,000				39,000
7 月		26,000		19,500	5,400			50,900
8 月		26,000			5,400			31,400
9 月		52,000		26,000	10,800			88,800
10月		26,000		13,000	5,400			44,400
11月	26,000	26,000		13,000	5,400			70,400
12月		45,500	13,000	13,000	5,400			76,900
1 月				9,750				9,750
2 月	52,000							52,000
3 月								0
計	78,000	266,500	13,000	133,250	48,600	0	0	539,350

危険物施設数及び事業所数の推移（過去5年）

令和2年4月1日現在

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
施設数	77	77	74	75	75
事業所数	44	44	42	42	42

少量危険物取扱施設数

令和2年4月1日現在

	少 量 危 険 物 取 扱 施 設
施 設 数	124

各種届出事務処理状況

令和元年度

関連条文	届出種別	件数
法第8条第2項	防火管理者選任届	190
〃	防火管理者解任届	84
法第17条の3の2	消防用設備等設置届	208
法第17条の3の3	消防用設備等点検結果報告書	1011
法第17条の14	消防用設備等着工届	101
規則第3条	消防計画	216
条例第43条第1項	防火対象物使用開始届	107
条例第44条第1号～第5号	炉・厨房設備・ボイラー設置届	4
〃 第9号	変電設備設置届	6
〃 第11号	発電設備設置届	4
〃 第12号	蓄電池設備設置届	3
〃 第14号	水素ガスを充てんする気球の設置届	0
条例施行規則第2条1項	裸火等使用承認申請書	58
条例第45条第2号	煙火打ち上げ、仕掛け届	9
〃 第3号	催物開催届	95
条例第46条	少量危険物貯蔵、取扱い届	10
法第13条第2項	危険物保安監督者選任・解任届	7

防火管理資格取得講習会実施状況

年 別	実 施 状 況	講習修了者
平成 19 年	乙種:宜野湾市消防本部主催1回開催 甲種:(財)日本防火協会へ委託	21(乙種)
平成 20 年	(財)日本防火協会へ委託	
平成 21 年	(財)日本防火協会へ委託	
平成 22 年	(財)日本防火協会へ委託	
平成 23 年	(財)日本防火協会へ委託	
平成 24 年	(財)日本防火協会へ委託	
平成 25 年	乙種:宜野湾市消防本部主催3回開催 甲種:(財)日本防火協会へ委託	68(乙種)
平成 26 年	乙種:宜野湾市消防本部主催2回開催 甲種:(財)日本防火協会へ委託	54(乙種)
平成 27 年	宜野湾市消防本部主催甲種1回、乙種2回 甲種:(一社)日本防火協会へ委託	23(甲種) 37(乙種)
平成 28 年	宜野湾市消防本部主催乙種3回 甲種:(一社)日本防火協会へ委託	38(乙種)
平成 29 年	宜野湾市消防本部主催乙種2回	18(乙種)
平成 30 年	宜野湾市消防本部主催乙種2回	39(乙種)
令和元年	宜野湾市消防本部主催乙種2回	32(乙種)

用途別防火管理者選任(解任)届出状況

令和元年度

用 途 別 (項)		選 任	解 任	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2	2
	ロ	公会堂、集会場	1	
2	イ	キャバレー、カフェー、クラブ等		
	ロ	遊技場、ダンスホール	1	1
	ハ	ファッションマッサージ・テレクラ等(性風俗営業店)		
	ニ	カラオケボックス等	4	3
3	イ	待合、料理店等		
	ロ	飲食店	17	5
4		百貨店、マーケット、店舗	12	8
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	3	3
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	21	9
6	イ	病院、診療所、助産所	1	1
	ロ	老人短期入所施設・特別養護老人ホーム「入所施設」	5	2
	ハ	デイサービス・老人福祉センター・保育園「入所施設以外」	12	9
	ニ	幼稚園、特別支援学校		
7		小・中・高・大学等	12	9
8		図書館、博物館、美術館		
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等		
	ロ	上記以外の公衆浴場		
10		車両停車場、航空機発着場		
11		神社、寺院、教会等	1	1
12	イ	工場、作業場		
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫、駐車場		
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫		
14		倉庫		
15		前各号に該当しない事業所	9	8
16	イ	特定防火対象物のある複合用途	79	21
	ロ	上記以外の複合用途	10	2
16の2		地下街		
16の3		準地下街		
17		重要文化財、史跡		
18		延長50m以上のアーケード		
19		市長村長の指定する山林		
20		自治省令で定める舟車		
合 計			190	84

※太文字は特定防火対象物

防火管理者を必要とする防火対象物数

令和2年4月1日現在

用途別(項)			対象物件数		
			甲種	乙種	合計
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2		2
	ロ	公会堂、集会場	17	8	25
2	イ	キャバレー、カフェー、クラブ等			0
	ロ	遊戯場、ダンスホール	4		4
	ハ	ファッションマッサージ・テレクラ等(性風俗営業店)			0
	ニ	カラオケボックス等	2	1	3
3	イ	待合、料理店等			0
	ロ	飲食店	28	22	50
4		百貨店、マーケット、店舗	49	11	60
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	14		14
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	162		162
6	イ	病院、診療所、助産所	21	1	22
	ロ	老人短期入所施設・特別養護老人ホーム「入所施設」	26		26
	ハ	デイサービス・老人福祉センター・保育園「入所施設以外」	44	8	52
	ニ	幼稚園、特別支援学校	3		3
7		小・中・高・大学等	19		19
8		図書館、博物館、美術館	3		3
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等			0
	ロ	上記以外の公衆浴場			0
10		車両停車場、航空機発着場			0
11		神社、寺院、教会等	7	1	8
12	イ	工場、作業場	6		6
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			0
13	イ	自動車車庫、駐車場	1		1
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫			0
14		倉庫	5		5
15		前各号に該当しない事業所	39	3	42
16	イ	特定防火対象物のある複合用途	266	15	281
	ロ	上記以外の複合用途	48	9	57
16の2		地下街			0
16の3		準地下街			0
17		重要文化財、史跡			0
18		延長50m以上のアーケード			0
19		市長村長の指定する山林			0
20		自治省で定める舟車			0
合 計			766	79	845

※太文字は特定防火対象物

防火対象物別立入検査状況

令和元年度

用途別(項)		月別	立入検査数												総対象計物		
			合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	
																	2,601
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	1							1								4
	ロ 公会堂、集会場	4							1	3							29
2	イ キャバレー、カフェー、クラブ等	0															0
	ロ 遊戯場、ダンスホール	1									1						6
	ハ ファッションマッサージ・テレクラ等	0															0
	ニ カラオケボックス等	0															3
3	イ 待合、料理店等	0															0
	ロ 飲食店	1												1			64
4	百貨店、マーケット、店舗	4		1		1				1	1						94
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	9	2	1	1	1	2									2	40
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	215	4	18	29	31	19	18	23	25	17	13	15	3			1,348
6	イ 病院、診療所、助産所	5		2		3											35
	ロ 老人短期入所施設、特別養護老人ホーム(入所施設)	18		4	5	1	1	3	1		1	1	1				29
	ハ デイサービス、老人福祉センター、保育園(入所施設以外)	18			1			7	1	3	1	1	3	1			83
	ニ 幼稚園、盲・ろう学校、養護施設	1		1													11
7	小・中・高・大学等	11		2	1			1		5					2		68
8	図書館、博物館、美術館	1								1							3
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場等	0															3
	ロ 上記以外の公衆浴場	0															0
10	車両停車場、航空機発着場	0															0
11	神社、寺院、教会等	4								4							12
12	イ 工場、作業場	1									1						34
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ	0															0
13	イ 自動車車庫、駐車場	0															15
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫	0															0
14	倉庫	3	1	1		1											36
15	前各号に該当しない事業所	5			1	1	1	1			1						124
16	イ 特定防火対象物のある複合用途	73		1	3	7	4	10	12	12	5	5	11	3			394
	ロ 上記以外の複合用途	22			2	1	6			5	1	1	4	2			166
1602	地下街	0															0
1603	準地下街	0															0
17	重要文化財、史跡	0															0
18	延長50m以上のアーケード	0															0
19	市長村長の指定する山林	0															0
20	自治省で定める舟車	0															0
合計			397	7	31	43	47	33	41	42	57	27	21	35	13		2,601

※対象物は150㎡以上(棟単位)とする。

※太文字は特定防火対象物

建築同意事務処理状況

令和元年度

区分		月別	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
建築 確認	受付	152	20	8	7	15	20	7	3	9	11	29	15	8	
	同意	131	14	11	6	16	12	15	4	7	11	10	14	11	
	条件付同意	0													
	不同意	0													
	返却	0													
	消防通知	167	4	17	20	4	23	1	19	7	3	18	0	51	
計画 通知	国	受付	13	1									12		
		了承	1	1											
	県	受付	1				1								
		了承	1										1		
	市	受付	4	3											1
		了承	4		2		1								
建築同意と計画通知の合計			137	15	13	6	17	12	15	4	7	11	11	14	12

過去5年間の建築同意受付件数

令和元年度

年度	月別	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
平成27年		153	6	18	13	12	14	22	17	14	7	13	9	8	13
平成28年		173	12	18	19	14	12	14	15	9	16	7	19	18	14
平成29年		163	18	11	25	12	14	17	13	8	12	8	15	10	14
平成30年		127	12	11	10	15	12	12	9	10	8	9	12	7	11
令和元年		152	20	8	7	15	20	7	3	9	11	29	15	8	13
合計		768	68	66	74	68	72	72	57	50	54	66	70	51	

月別・用途別建築同意処理状況

令和元年度

用途別(項)		月 別												
		合 計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
合 計		128	13	10	6	16	12	15	4	7	11	10	14	10
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	3												3
	ロ 公会堂、集会場	0												
2	イ キャバレー、カフェー、クラブ等	0												
	ロ 遊戯場、ダンスホール	0												
	ハ ファッションマッサージ・テレクラ等	0												
	ニ カラオケボックス等	0												
3	イ 待合、料理店等	0												
	ロ 飲食店	1					1							
4	百貨店、マーケット、店舗	7	1	2		1							3	
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	5			1					1			3	
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	55	8	4	2	7	7	8	2	1	4	3	6	3
6	イ 病院、診療所、助産所	2				1						1		
	ロ 老人短期入所施設等「入所施設」	2						1						1
	ハ デイサービス・保育園等「入所施設以外」	3			1				1				1	
	ニ 幼稚園、特別支援学校	0												
7	小・中・高・大学等	7		1		4					1			1
8	図書館、博物館、美術館	0												
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場等	0												
	ロ 上記以外の公衆浴場	0												
10	車両停車場、航空機発着場	0												
11	神社、寺院、教会等	0												
12	イ 工場、作業場	0												
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ	0												
13	イ 自動車車庫、駐車場	0												
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫	0												
14	倉 庫	0												
15	前各号に該当しない事業所	12		2		1		3		1		4	1	
16	イ 特定防火対象物のある複合用途	6					2			1	1	1		1
	ロ 上記以外の複合用途	3		1		1								1
16の2	地下街	0												
16の3	準地下街	0												
17	重要文化財、史跡	0												
18	延長50m以上のアーケード	0												
19	市長村長の指定する山林	0												
20	自治省で定める舟車	0												
長 屋		18	2		2		2	3	1	2	5	1		
住 宅		4	2			1				1				

※太文字は特定防火対象物

用途別消防用設備等設置件数

令和2年4月1日現在

用途別	消防用設備等	対象物総数	消火設備					警報設備				避難設備		消火活動上必要な設備			
			屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	ハロゲン化物消火設備	粉末消火設備	泡消火設備	二酸化炭素消火設備	自動火災報知設備	非常ベル	非常放送設備	ガス漏れ警報設備	誘導灯	避難器具	連結水設備	連結水管	非常コンセント
合計		2,601	178	56	3	101	12	2	1,483	358	344	0	792	880	9	175	23
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	4	1	1					4	1	1		3			1	
	ロ 公会堂、集会場	29	4	2	1				20	11	10		22				
2	イ キャバレー、カフェー、クラブ等	0															
	ロ 遊戯場、ダンスホール	6	1	1		2			6	6	5		6	1		2	
	ハ ファッションマッサージ・テレクラ等	0															
	ニ カラオケボックス等	3	1						4				4	1			
3	イ 待合、料理店等	0															
	ロ 飲食店	64	2						24	21	15		48	4		3	
4	百貨店、マーケット、店舗	94	2	6		7	2		54	14	30		85	4		1	
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	40	1	2		1		1	41	2	4		40	6		6	2
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	1,348	42	3		40	1		710	129	101		23	622		128	21
6	イ 病院、診療所、助産所	35	4	5		2			25	8	7		35	3		4	
	ロ 老人短期入所施設、特別養護老人ホーム(入所施設)	29		27		2			28	3	6		28	8		1	
	ハ デイサービス、老人福祉センター、保育園(入所施設以外)	83				1			55	6	10		76	10			
	ニ 幼稚園、盲・ろう学校、養護施設	11							11	1	1		9	1			
7	小・中・高・大学等	68	55			6	3		64	43	52		15	7	3	3	
8	図書館、博物館、美術館	3	1		1	1			3	1	2		2				
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場等	3								3	3		3				
	ロ 上記以外の公衆浴場	0															
10	車両停車場、航空機発着場	0															
11	神社、寺院、教会等	12	1						4	5	3		3				
12	イ 工場、作業場	34	8						18				3	2			
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ	0															
13	イ 自動車車庫、駐車場	15				13	2		9		1		3			2	
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫	0															
14	倉庫	36	11			2			30				7				
15	前各号に該当しない事業所	124	19			7		1	54	18	22		41	9	4	1	
16	イ 特定防火対象物のある複合用途	394	18	9		10	4		255	55	45		286	144	2	17	
	ロ 上記以外の複合用途	166	7		1	7			64	31	26		50	58		6	
16の2	地下街	0															
16の3	準地下街	0															
17	重要文化財、史跡	0															
18	延長50m以上のアーケード	0															
19	市長村長の指定する山林	0															
20	自治省で定める舟車	0															

※太文字は特定防火対象物

中高層建築物用途別棟数状況

令和2年4月1日現在

用途別(項)		階数	棟数合計	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階
合 計			1,147	672	194	116	58	44	17	22	7	8	4	5	0
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	1		1										
	ロ	公会堂、集会場	0												
2	イ	キャバレー、カフェー、クラブ等	0												
	ロ	遊戯場、ダンスホール	2				2								
	ハ	ファッションマッサージ・テレクラ等	0												
	ニ	カラオケボックス等	0												
3	イ	待合、料理店等	0												
	ロ	飲食店	6	1	2		3								
4		百貨店、マーケット、店舗	7	6	1										
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	15	1	6	2		2	2			1		1	
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	824	489	124	82	40	35	13	19	7	7	4	4	
6	イ	病院、診療所、助産所	7	2	2	2	1								
	ロ	老人短期入所施設、特別養護老人ホーム(入所施設)	8	4	3		1								
	ハ	デイサービス、老人福祉センター、保育園(入所施設以外)	2	1	1										
	ニ	幼稚園、盲・ろう学校、養護施設	0												
7		小・中・高・大学等	22	12	6	4									
8		図書館、博物館、美術館	0												
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	0												
	ロ	上記以外の公衆浴場	0												
10		車両停車場、航空機発着場	0												
11		神社、寺院、教会等	0												
12	イ	工場、作業場	1		1										
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0												
13	イ	自動車車庫、駐車場	4	1	3										
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	0												
14		倉庫	0												
15		前各号に該当しない事業所	15	9	3	3									
16	イ	特定防火対象物のある複合用途	154	95	27	15	9	5	1	2					
	ロ	上記以外の複合用途	79	51	14	8	2	2	1	1					
16の2		地下街	0												
16の3		準地下街	0												
17		重要文化財、史跡	0												
18		延長50m以上のアーケード	0												
19		市長村長の指定する山林	0												
20		自治省で定める舟車	0												
住 宅			0												

※太文字は特定防火対象物

予防広報活動状況

令和元年度

区分 月別	市報掲載	ポスター	チラシ	防火指導		防火映画		・防広 街災無報 頭線 (回)
	(回)	(枚)	(枚)	回	人	回	人	(回)
4月								
5月	1							
6月	1		80					7
7月	1		79					
8月	1							
9月			1,078					69
10月	2							
11月		369	815	2	50			26
12月	1							
1月								
2月	1							
3月		627	627					
計	8	996	2,679	2	50			102

火 災

“その火事を
防ぐあなたに
金メダル”

(2020年度全国统一防火標語)

火災統計概要

◇令和元年は火災件数14件。前年から7件減少。

過去5年間における火災件数は、概観として、年々減少傾向にあります。年間の火災全体に対する建物火災の割合に減少傾向はみられません。

令和元年における火災件数は14件。このうち建物火災は9件で、市内の火災の6割強を占めています。このことから、住宅防火の重要性が伺われます。

◇住宅防火の決め手、住宅用火災警報器。

建物火災の切り札、住宅用火災警報器の設置、取替えをこれからも推進していきます。

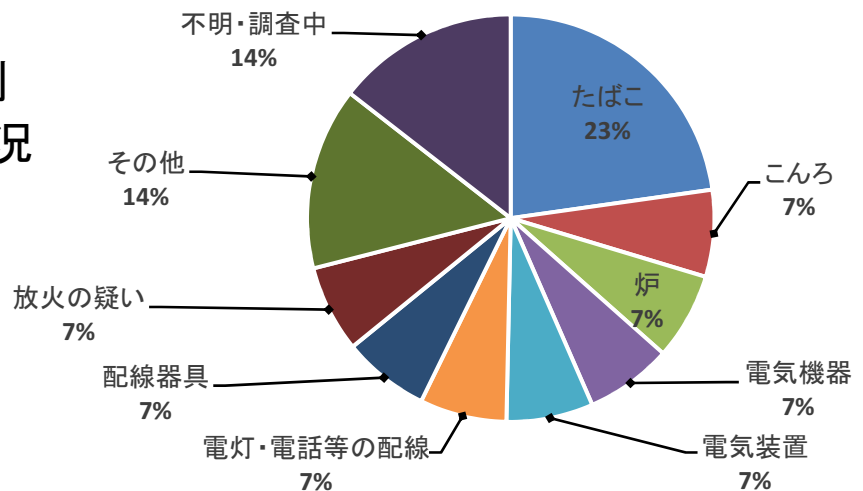
住宅用火災警報器の電池寿命は10年です。月に一度の点検と、10年を目途とした機器の取替えをお願いします。

◇出火原因第1位はたばこ。

令和元年に発生した火災における出火原因の第1位は「たばこ」で、「その他」「不明・調査中」を除くと第2位以下は横一線に並んでいます。生活様式の多様化に伴い、出火原因も多岐に亘っていることが考えられます。その中でも、電気関係の火災が多く見受けられます。

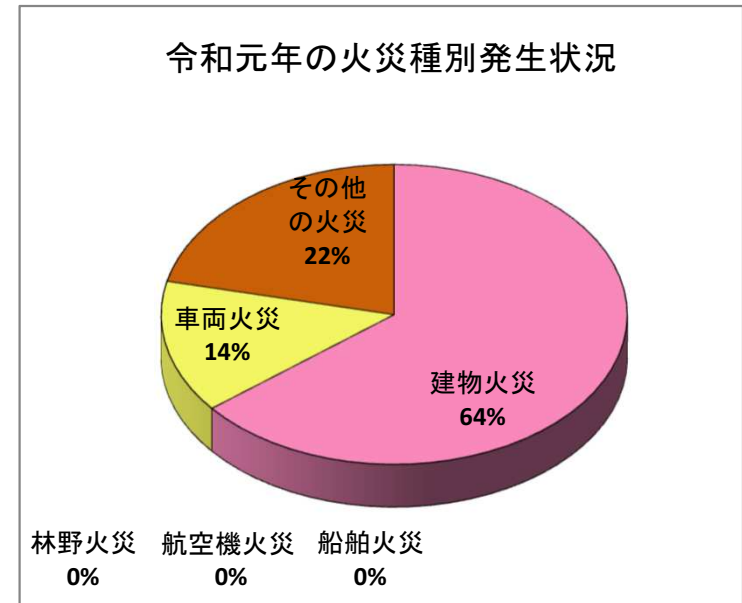
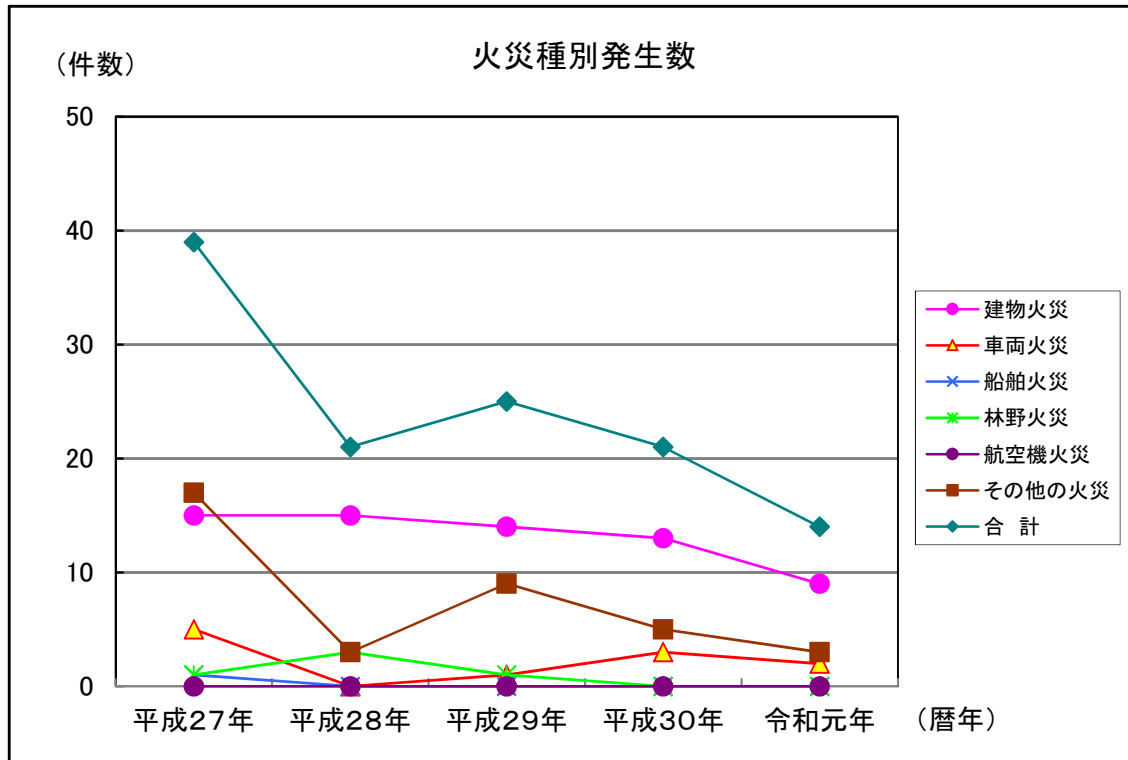
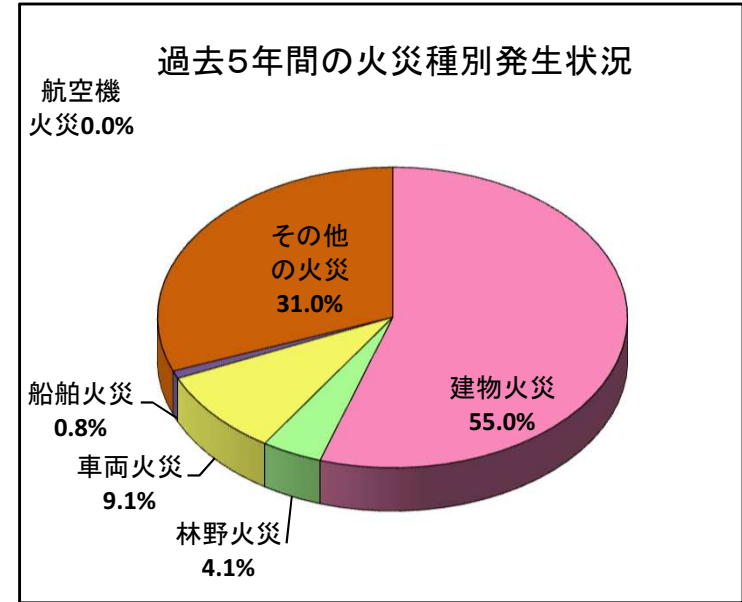
各家庭、各事業所においては、たばこの確実な後始末や電気の安全な使用など、日頃から防火意識を高めて積極的に火事を防ぐことで、防火に関する金メダルの獲得を目指しましょう。

出火原因別
火災発生状況

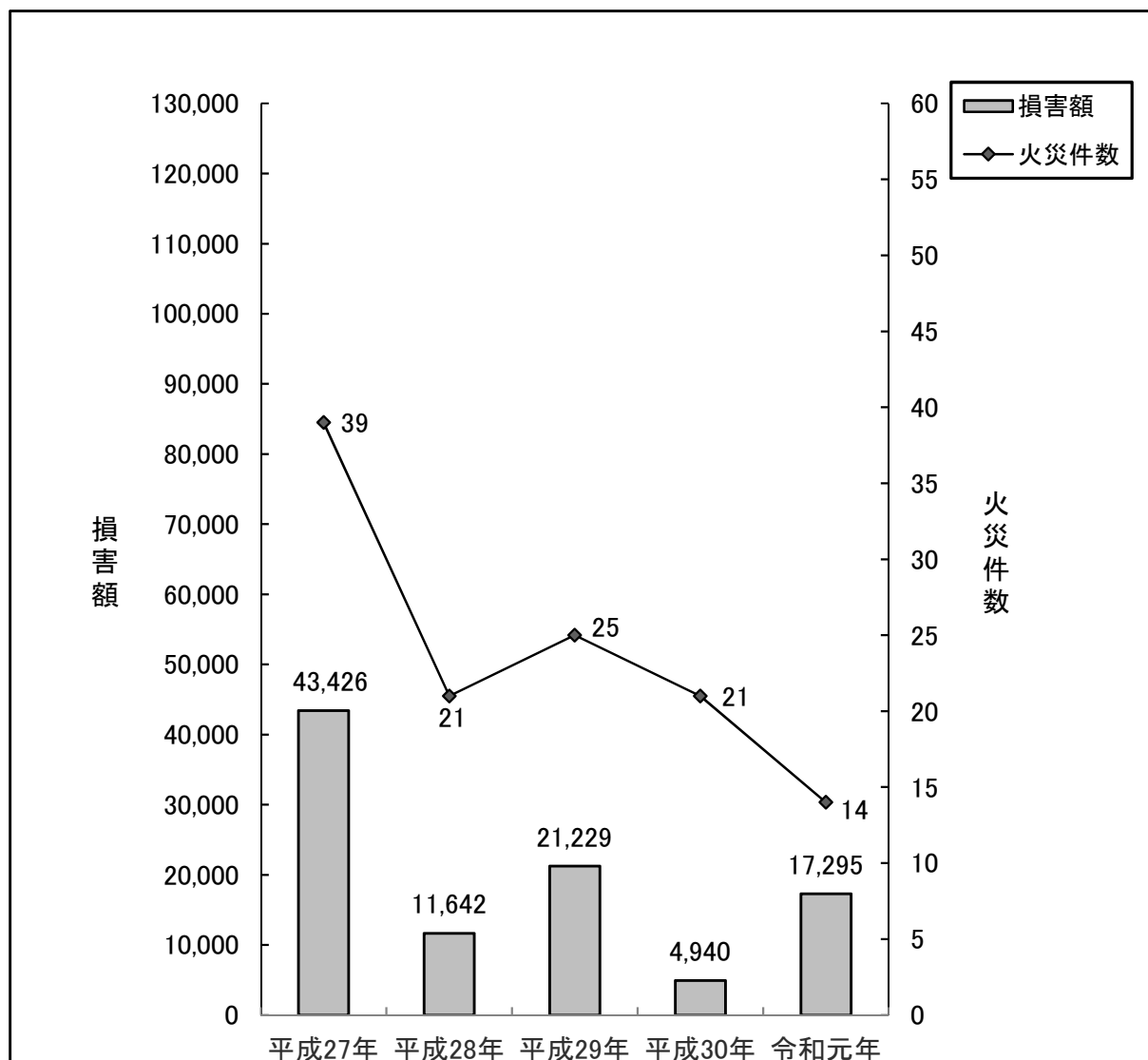


過去5年間の火災種別発生件数・状況

年別 火災種別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	合計
建物火災	15	15	14	13	9	66
林野火災	1	3	1	0	0	5
車両火災	5	0	1	3	2	11
船舶火災	1	0	0	0	0	1
航空機火災	0	0	0	0	0	0
その他の火災	17	3	9	5	3	37
合計	39	21	25	21	14	120



過去5年間の火災件数・損害額及び焼損面積



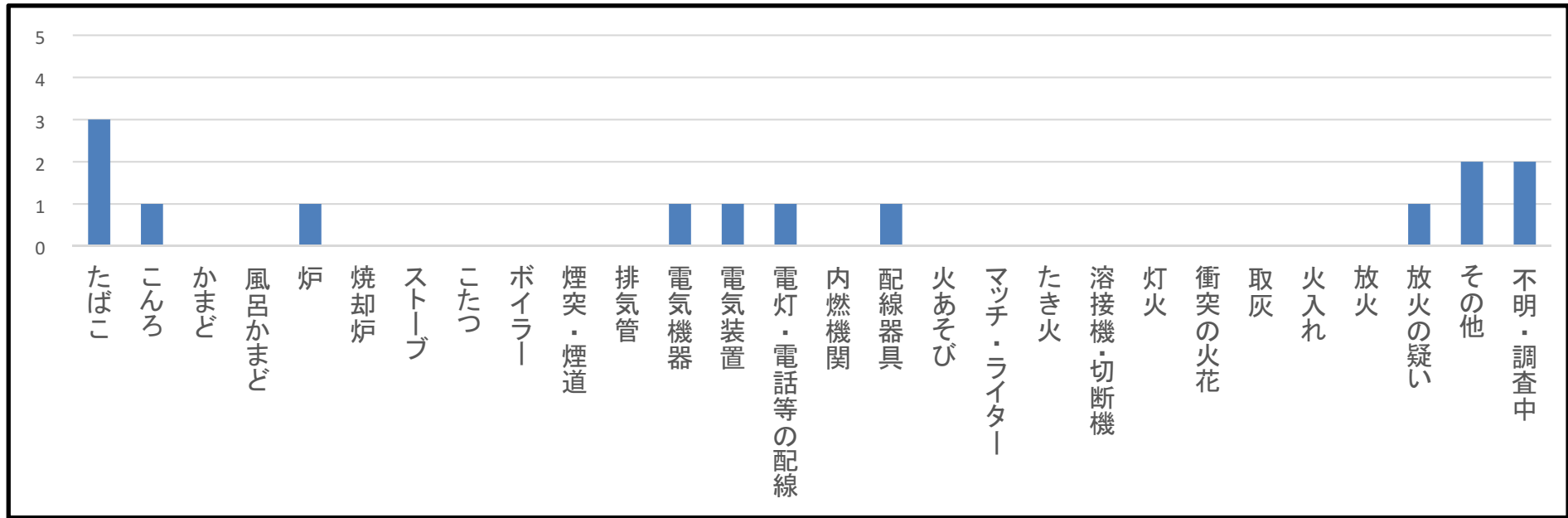
火災種別		年別					合計
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	
件数		39	21	25	21	14	120
損害額 (千円)	建物火災	42,822	11,642	21,173	4,646	16,548	96,831
	林野火災						0
	車両火災	494		54	288	720	1,556
	船舶火災	110					110
	航空火災						0
	その他の火災			2	6	27	35
	合計	43,426	11,642	21,229	4,940	17,295	98,532
建物焼損面積(m ²)		323	149	216	88	128	904

月別・年次別火災発生状況

令和元年

	出火件数							建築物火災											車両 焼損 台数	船舶 焼損 隻数	航空 焼損 機数	死傷者		損害額(千円)							合計				
	計	建物	林 野	車 両	船 舶	航 空	その 他の 火災	住家				非住家				罹 災 棟 数	罹災世帯数					罹 災 人 員 (m ²)	延 べ 焼 損 面 積 (m ²)	死 者	傷 者	屋内			屋外						
								全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		全 損	半 損								小 損	建 物	収 容 物 その 他	計	林 野		車 両	船 舶	航 空	その 他 の 火 災
平成27年	39	15	1	5	1	0	17	0	2	3	1	0	1	4	4	15	1	1	7	25	323	5	1	0	2	1	35,664	7,158	42,822	0	494	110	0	0	43,426
平成28年	21	15	3	0	0	0	3	0	2	4	6	0	1	1	2	16	1	0	13	32	149	0	0	0	0	5	10,969	673	11,642	0	0	0	0	0	11,642
平成29年	25	14	1	1	0	0	9	0	2	4	6	0	0	0	5	17	2	1	9	31	216	0	0	0	0	2	16,256	4,917	21,173	0	54	0	0	2	21,229
平成30年	21	13	0	3	0	0	5	0	0	2	6	0	0	1	4	13	1	0	10	25	88	3	0	0	1	8	4,369	277	4,646	0	288	0	0	6	4,940
令和元年	14	9	0	2	0	0	3	0	1	5	4	0	0	1	0	11	1	3	8	19	128	2	0	0	0	1	15,918	630	16,548	0	720	0	0	27	17,295
1月	1	1									1				1			1	1	1							191	20	211					211	
2月	1	1								1					1			1	2	15							1,539	153	1,692					1,692	
3月	1	1								1					3			1	2	6	38						4,831	126	4,957					4,957	
4月	0																												0				0		
5月	2			1			1															1								0		120		120	
6月	0																													0				0	
7月	1	1								1					1	1	2	1	7	39					1		7,941	211	8,152					8,152	
8月	0																												0				0		
9月	1	1								1					1												763	5	768					768	
10月	1	1									1				1			1	1								4		4					4	
11月	3	1		1			1						1		1					35		1					34	75	109		600			27	736
12月	3	2					1			2					2			2	2								615	40	655					655	

令和元年の出火原因別火災発生件数



近年における主な住宅用火災警報器による奏功事例

発生年	覚知方法	出火箇所	原因	火災非火災	焼損面積	損害額	死傷者		概要
					(m ²)	(千円)	死	傷	
平成29年	事後聞知	寝室	その他	火災	1㎡未満	計上なし	なし	なし	消えたと思った蚊取り線香をゴミ箱に捨てたことでゴミ箱から出火。住人は就寝中であったが、住宅用火災警報器の警報音で目が覚め、初期消火成功する。
平成30年	119番	居室	放火	火災	なし	178	なし	有	放火による出火。住宅用火災警報器の警報音により出火室以外の室にいた者が火災を発見。初期消火成功するも負傷者が発生した。
平成30年	119番	台所	こんろ	非火災	なし	計上なし	なし	なし	鍋の空焚きによる出火。鍋をこんろに掛け台所を離れた後、焦げ臭と住宅用火災警報器の鳴動音にて鍋の空焚きに気づく。

月別・用途別出火件数

令和元年

用途別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
住 宅		1	1										2
遊 技 場													0
性 風 俗 店													0
飲 食 店													0
店 舗													0
倉 庫													0
共 同 住 宅							1			1		1	3
事 務 所											1		1
複合用途建築物	1								1			1	3
車 両					1						1		2
林 野													0
そ の 他					1						1	1	3
計	1	1	1	0	2	0	1	0	1	1	3	3	14

覚知別火災出動件数

令和元年

用途別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
専用電話(固定)			1										1
専用電話(携帯)	1				2		1		1		1	2	8
加入電話		1											1
駆け付け													0
事後聞知										1	2	1	4
そ の 他													0
計	1	1	1	0	2	0	1	0	1	1	3	3	14

曜日別火災発生件数

令和元年

曜日	日	月	火	水	木	金	土	合計
件数	3	1	2	4	1	1	2	14

月別・時間別火災発生状況

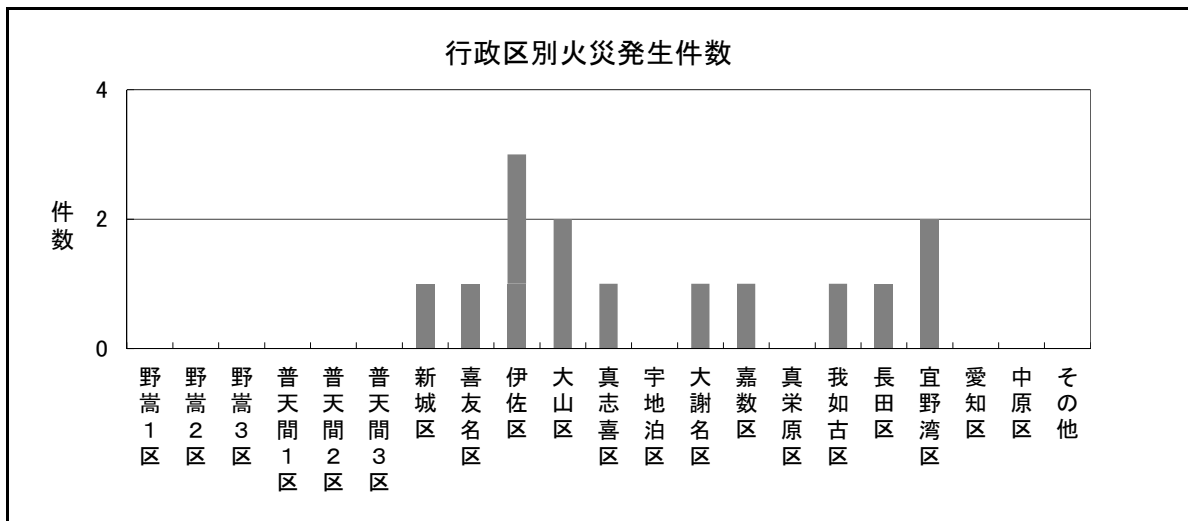
令和元年

月別	時間別	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0			
1月																							1				1	
2月																1												1
3月														1														1
4月																												0
5月																				1					1			2
6月																												0
7月											1																	1
8月																												0
9月																										1		1
10月																		1										1
11月														1								1	1					3
12月		1		1								1																3
計		0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	14

行政区別・月別火災発生状況

令和元年

行政区別	月別												計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
野嵩1区														0
野嵩2区														0
野嵩3区														0
普天間1区														0
普天間2区														0
普天間3区														0
新城区		1												1
喜友名区			1											1
伊佐区									1			2		3
大山区											2			2
真志喜区											1			1
宇地泊区														0
大謝名区					1									1
嘉数区												1		1
真栄原区														0
我如古区					1									1
長田区	1													1
宜野湾区							1			1				2
愛知区														0
中原区														0
その他														0
計	1	1	1	0	2	0	1	0	1	1	3	3		14



救 急

救急車を
上手に使い
ましょう。



救急統計概要

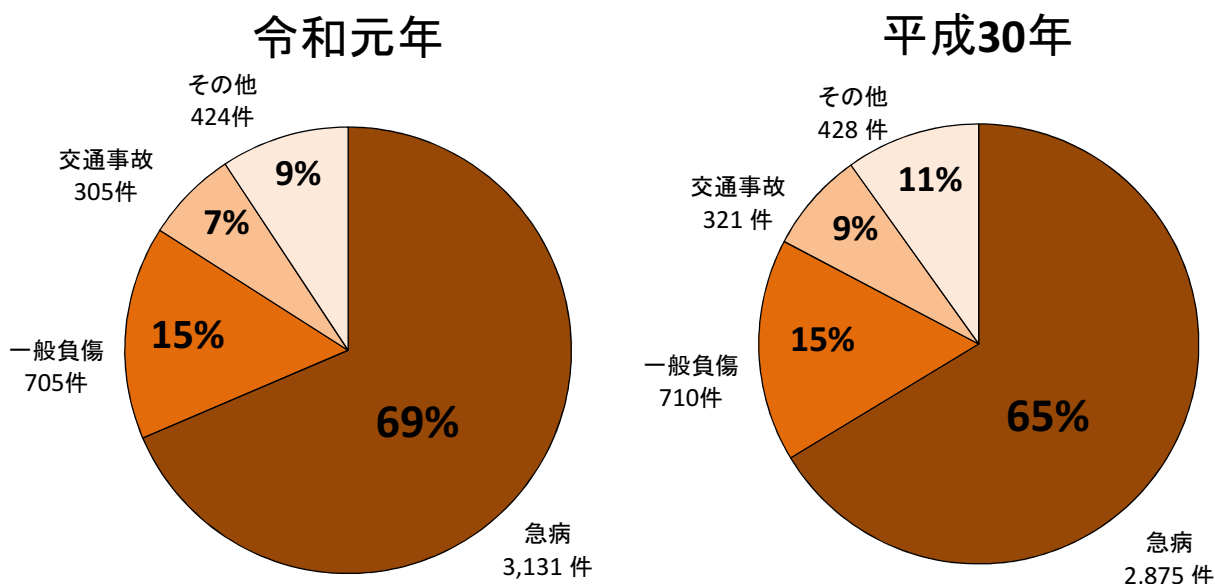
1. 救急出動件数が 過去最多 4,500件 超え

令和元年中の救急件数は4,565件で、前年(4,334件)より231件増加しました。令和元年は救急件数が過去最多となる4,500件を超える結果となりました。1日あたりで見ると、12件を超える出動となります。

	出動件数	1日あたりの件数
令和元年	4,565	12.51
平成30年	4,334	11.87
平成29年	4,264	11.68
平成28年	4,288	11.75

2. 事故種別ごとの救急出動件数 1位は「急病」

令和元年中の事故種別ごと救急件数は、1位は「急病」で3,131件です。次いで、「一般負傷」705件、「交通事故」305件となっています。



3. 救急搬送者全体における高齢者の割合は 約「5割」

令和元年中の宜野湾市の救急搬送者総数4,241人の内、高齢者は2,082人で救急搬送者の約5割と高い割合を示しています。

4. 救急搬送者全体における軽症者の割合は 約「6割」

令和元年中の宜野湾市の救急搬送者総数は4,241人で、前年より198人増加しました。しかしながら、軽症者は2,418人で救急搬送者の約6割と高い割合を示しています。

5. 本市救急出動における現場到着平均所要時間は 「6.8分」

令和元年中の救急件数4,565件の現場到着までにかかる平均時間は「6.8分」です。

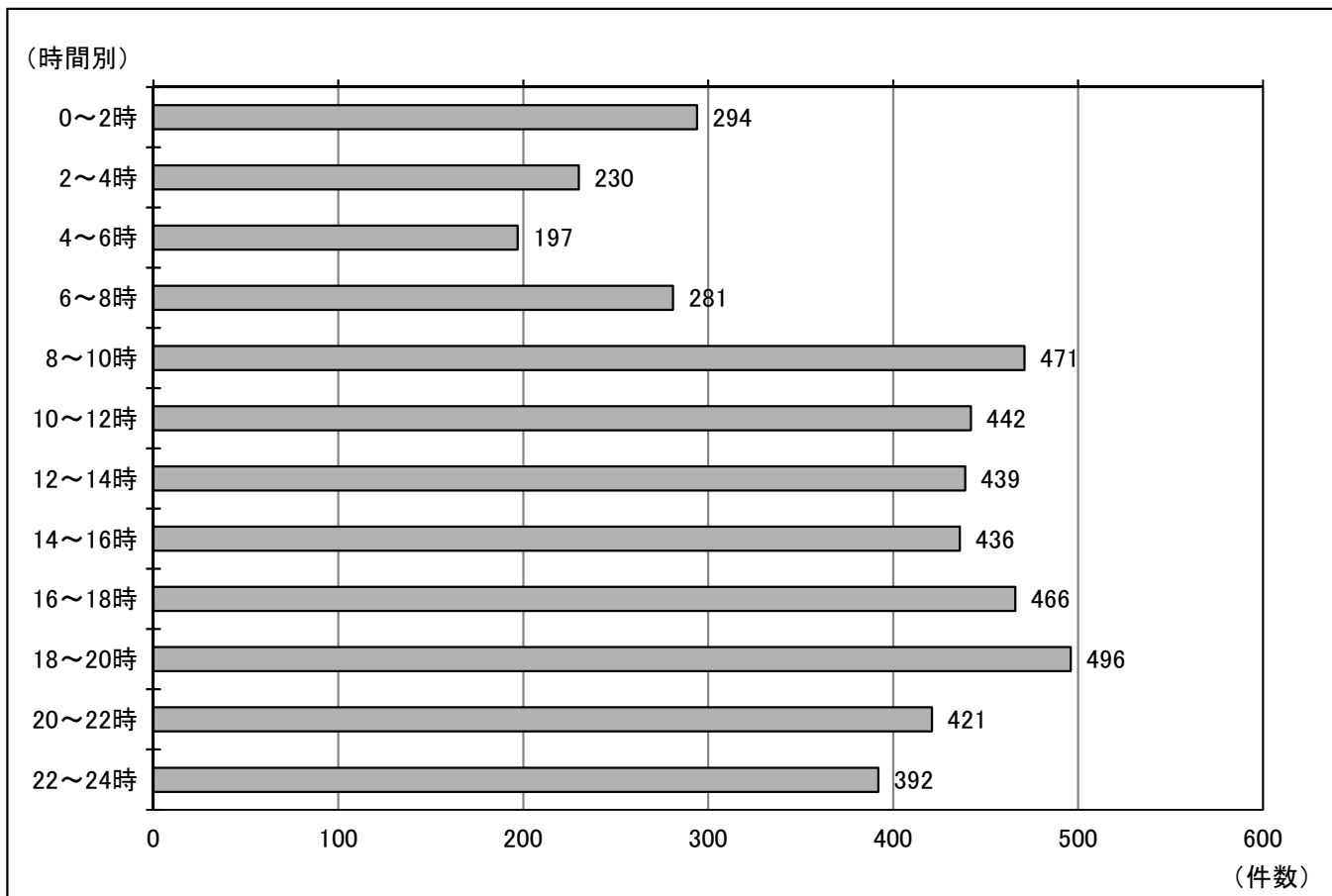
救急車は市民の財産です。救急車の適正利用にご協力をお願いします。

事故種別・時間別救急出動件数

令和元年

事故種別 時間別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
		0～2時	1			10			42	6	5	216	14
2～4時				11			31	8	4	168	8	230	
4～6時				5			24	4	2	154	8	197	
6～8時				27		1	45	2	3	198	5	281	
8～10時	2	1		30	8	3	71		1	328	27	471	
10～12時			1	25	5	6	67		2	278	58	442	
12～14時	1		1	20	3	4	77	2	1	272	58	439	
14～16時				27	6	13	85	2	4	265	34	436	
16～18時		1		52	4	4	70	2	7	298	28	466	
18～20時				55	1	5	69	1	1	350	14	496	
20～22時	1			25	1	2	72	2	2	305	11	421	
22～24時				18	1		52	4	3	299	15	392	
計	5	2	2	305	29	38	705	33	35	3131	280	4,565	

時間別救急出動件数

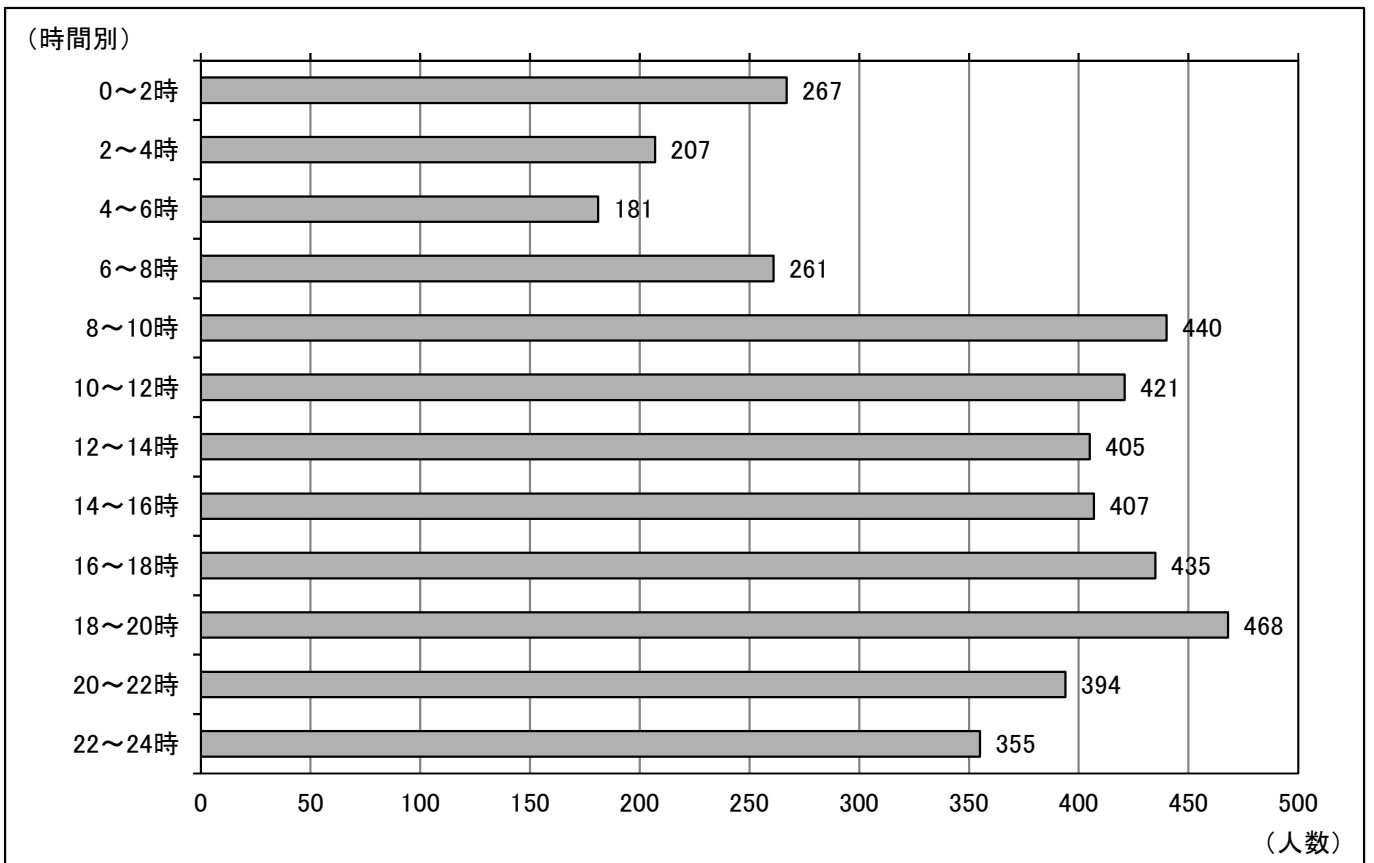


事故種別・時間別救急搬送人員

令和元年

事故種別 時間別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
		0～2時				10			39	6	4	207	1
2～4時				12			27	6	2	159	1	207	
4～6時				5			20	4	2	150		181	
6～8時				24		1	41	2	3	189	1	261	
8～10時	1	1		27	8	3	68		1	308	23	440	
10～12時			1	24	5	6	63		2	265	55	421	
12～14時			1	18	3	4	67	2		257	53	405	
14～16時				24	5	13	84	2	3	247	29	407	
16～18時		1		53	4	4	64	1	3	282	23	435	
18～20時				49	1	5	65	1	1	339	7	468	
20～22時				26	1	2	63	2	1	294	5	394	
22～24時				20	1		45	4	3	277	5	355	
計	1	2	2	292	28	38	646	30	25	2,974	203	4,241	

時間別救急搬送人員

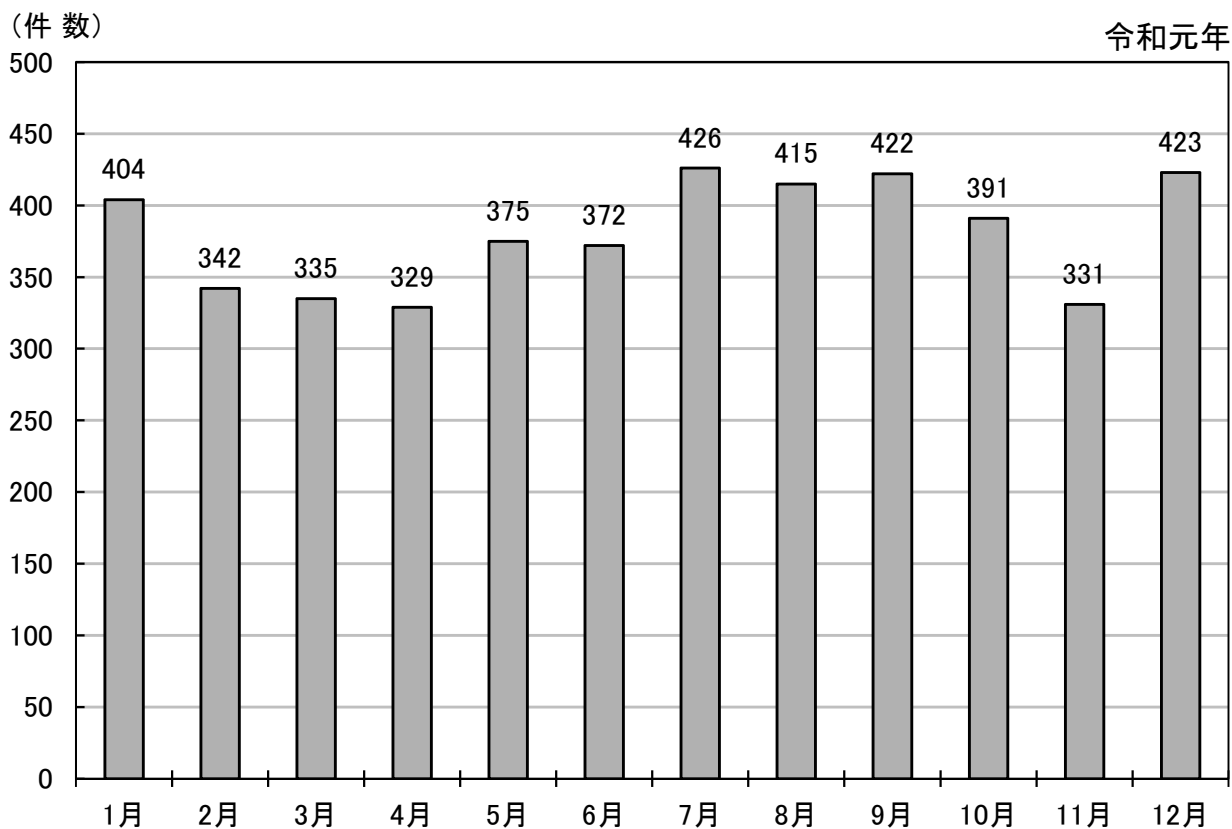


事故種別年齢別傷病程度別搬送人員

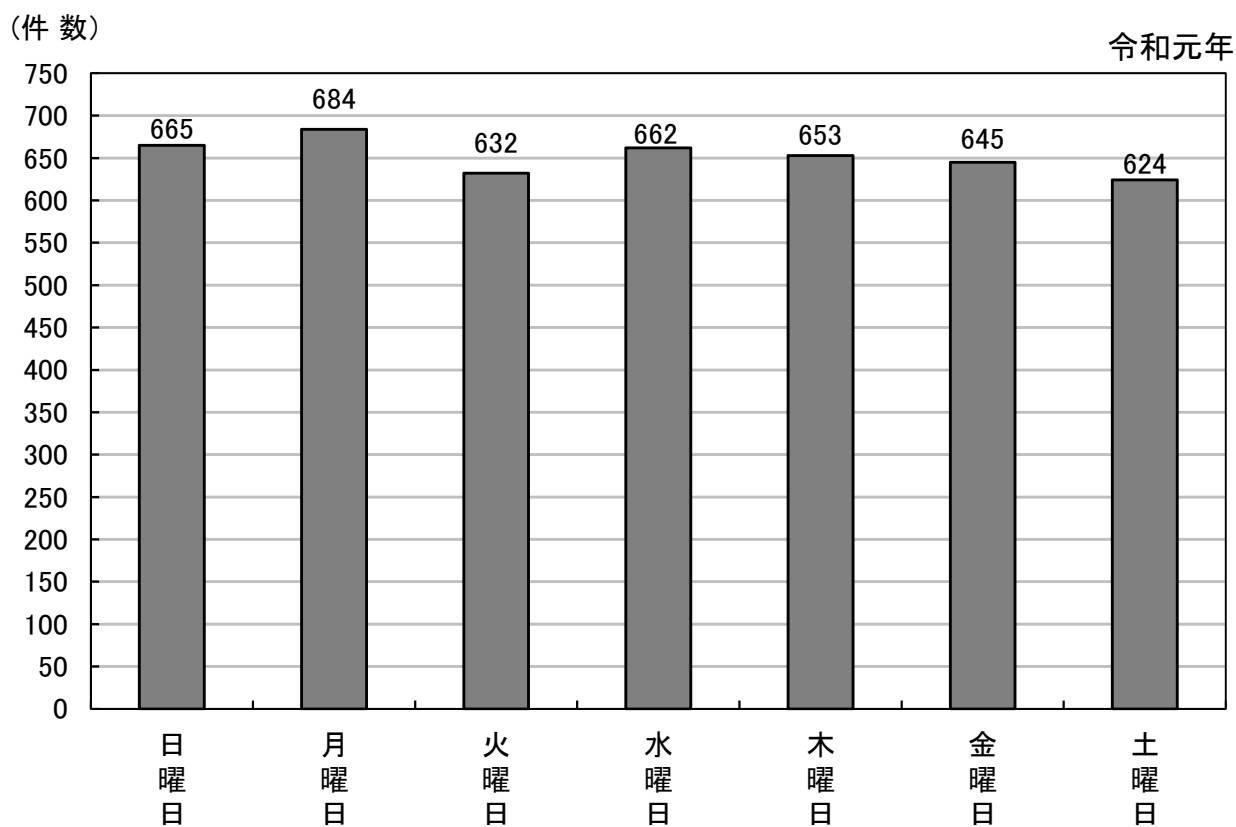
令和元年

年齢区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
	傷病程度												
新生児	死亡												0
	重症										2	1	3
	中等症											6	6
	軽症							1			1		2
	その他												0
	計		0	0	0	0		1	0		3	7	11
乳幼児	死亡										1		1
	重症										4		4
	中等症				1			1			43	2	47
	軽症				5			48			215	1	269
	その他												0
	計		0	0	0	6		49	0	0	263	3	321
少年	死亡												0
	重症				3		1				1		5
	中等症				7		3	6			13	2	31
	軽症				32	1	20	31	2		82	1	169
	その他												0
	計		0	0	0	42	1	24	37	2	0	96	3
成人	死亡				1			1		2	8		12
	重症				7	5	1	17		5	59	10	104
	中等症				20	10		25	4	7	275	36	377
	軽症	1		2	170	8	13	125	18	9	770	12	1128
	その他											1	1
	計	1	0	2	198	23	14	168	22	23	1112	59	1622
老人	死亡										30	1	31
	重症				8	1		85			230	43	367
	中等症		1		6			113	1	1	638	74	834
	軽症		1		32	3		193	5	1	602	13	850
	その他												0
	計	0	2	0	46	4	0	391	6	2	1500	131	2082
合計	死亡				1			1		2	39	1	44
	重症				18	6	2	102		5	296	54	483
	中等症		1		34	10	3	145	5	8	969	120	1295
	軽症	1	1	2	239	12	33	398	25	10	1670	27	2418
	その他											1	1
	計	1	2	2	292	28	38	646	30	25	2974	203	4241

月別救急出動件数



曜日別救急出動件数

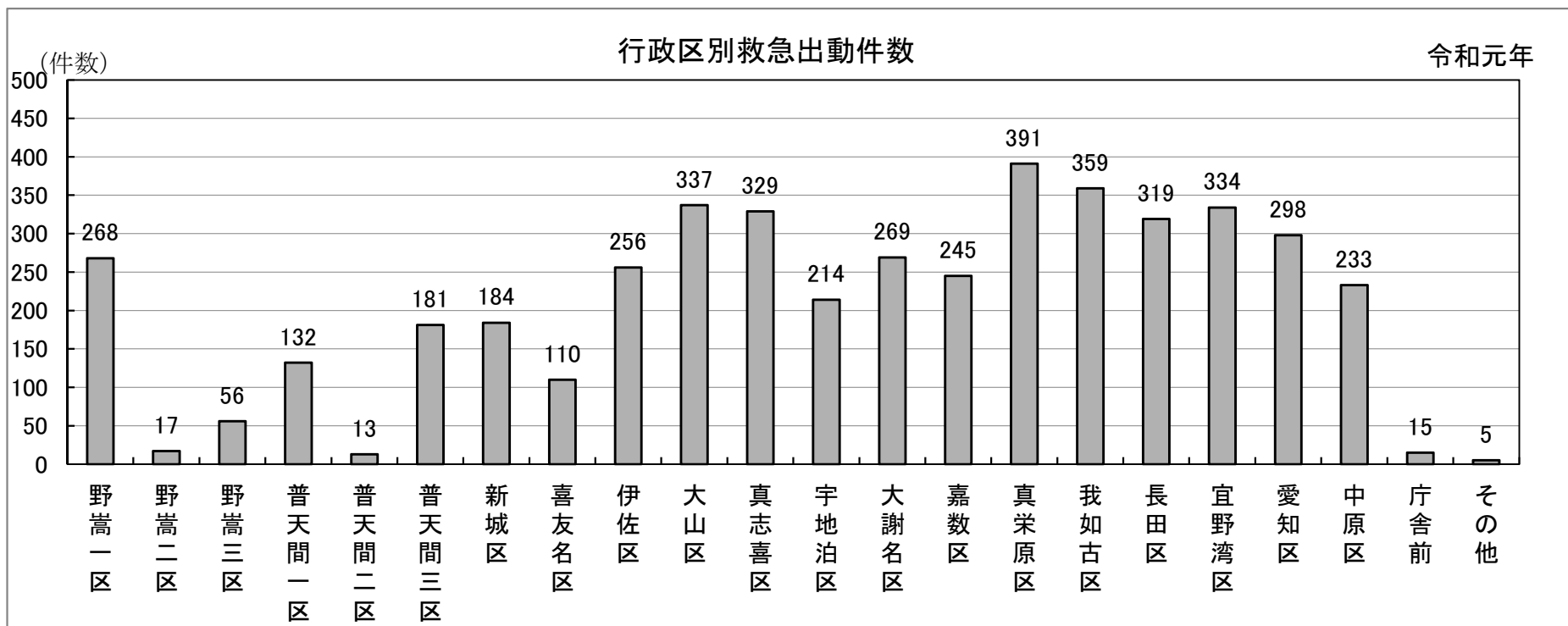


行政区別救急出動件数

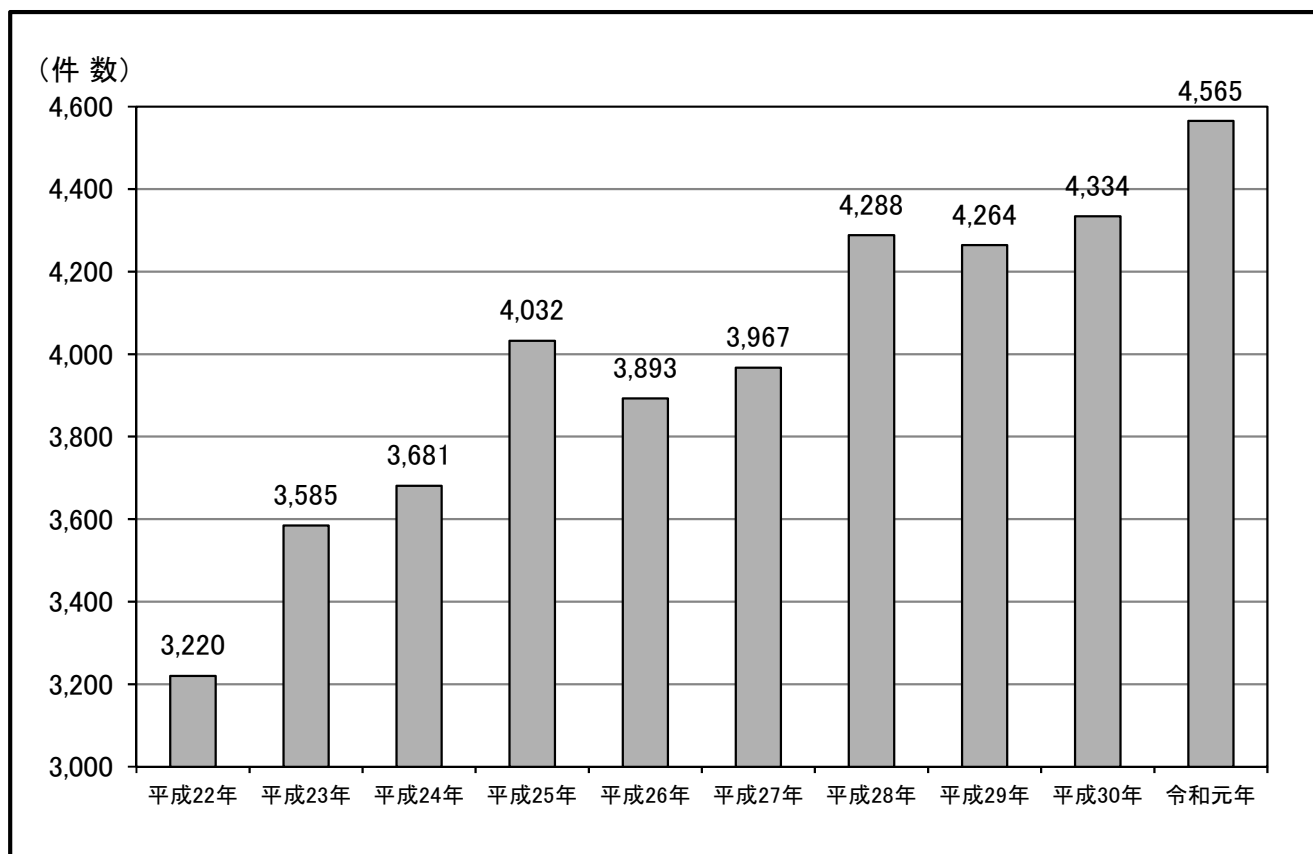
令和元年

行政区名	野嵩一区	野嵩二区	野嵩三区	普天間一区	普天間二区	普天間三区	新城区	喜友名区	伊佐区	大山区	真志喜区
救急出動件数	268	17	56	132	13	181	184	110	256	337	329
行政区名	宇地泊区	大謝名区	嘉数区	真栄原区	我如古区	長田区	宜野湾区	愛知区	中原区	庁舎前	その他
救急出動件数	214	269	245	391	359	319	334	298	233	15	5

その他：他市町村及び軍施設内



過去10年間の救急出動件数



過去10年間の事故種別救急出動件数

種別 年別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
平成22年	27	0	8	372	14	22	465	31	37	2,041	203	3,220
平成23年	24	7	3	356	26	33	498	37	51	2,314	236	3,585
平成24年	31	14	5	368	25	25	563	31	36	2,318	265	3,681
平成25年	25	0	6	397	40	32	602	28	47	2,549	306	4,032
平成26年	8	7	5	373	19	36	601	21	43	2,499	281	3,893
平成27年	15	1	6	358	20	54	593	37	38	2,573	272	3,967
平成28年	13	0	7	385	36	42	650	38	46	2,802	269	4,288
平成29年	9	3	6	301	27	27	642	23	48	2,903	275	4,264
平成30年	11	9	3	321	20	46	710	39	39	2,875	261	4,334
令和元年	5	2	2	305	29	38	705	33	35	3,131	280	4,565

署所別救急出動件数

	消防署	我如古出張所	真志喜出張所	合計
出動件数	1,934	1,430	1,201	4,565
搬送人員	1,776	1,336	1,129	4,241
ドクターカーとの連携	75	70	62	207

令和元年

救急隊員が行った応急処置件数（令和元年）

表1


事故種別	応急処置 対象 人員	止血	固定	人工 呼吸	心マッサージ		心肺蘇生		酸素吸入	気道確保				保温	被覆	
					うち自動		うち自動			*1	*2	*3	*4			
急病	2,972	7	40	4	2		48	27	760	78			13	1	143	9
交通	292	10	236	1			1		11	3			1		13	35
一般負傷	646	56	181	1			3	3	29	5		2	3		22	115
その他	328	11	34	1			3	3	104	8					16	23
計	4,238	84	491	7	2	0	55	33	904	94	0	2	17	1	194	182

- *1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保
- *2 口頭鏡・鉗子等による異物除去
- *3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保
- *4 気道確保のための処置で救急救命士が行った気管挿管処置

表2

事故種別	在宅療法継続			ショックパ ンツによる 血圧保持	除細動	静脈路確保		薬剤投与	その他 の応急 処置	血圧 測定	聴診器に よる心音・ 呼吸音の 聴取	血中酸素 飽和度の 測定	心電図	血糖測定	エピペン 投与	ブドウ糖 投与	合計		
	*A	*B	*C			うち CPA前	うち CPA後												
急病	194	4	38	156		10	32	14	18	13	1,750	2,747	1,447	2,922	1,649	98		5	11,958
交通											159	284	163	291	51	3			1,261
一般負傷	22		2	20							338	610	176	642	118	3			2,321
その他	18	4	3	15			3	2	1	1	168	314	125	324	103	1			1,257
計	234	8	43	191	0	10	35	16	19	14	2,415	3,955	1,911	4,179	1,921	105	0	5	16,797

- *A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの
- *B 気管切開孔又は気管瘻、人工肛門等の外瘻処置が施されているもの
- *C *A、*B以外の処置が施されているもの



救助・その他出動

救助統計概要

1. 令和元年中の救助出動件数は **23 件** 前年比は **8 件 減少**

	出動件数 合計	火災	交通 事故	水難 事故	自然災害	機械 事故	建物等 の事故	ガス酸欠 事故	破裂 事故	その他 事故
令和元年	23		3	1		1	7			11
平成30年	31	1	5	3		1	9			12
前年比	-8	-1	-2	-2			-2			-1

令和元年中の救助出動の件数は23件で、前年と比較すると8件の減少となっています。一番多いのが「その他事故」で11件、次いで「建物等の事故」で7件、「交通事故」で3件となっています。

2. 令和元年中の救助活動件数は **13 件** 前年比は **8 件 減少**

	活動件数 合計	火災	交通 事故	水難 事故	自然災害	機械 事故	建物等 の事故	ガス酸欠 事故	破裂 事故	その他 事故
令和元年	13		1				7			5
平成30年	21	1	2	2			6			10
前年比	-8	-1	-1	-2			1			-5

令和元年中の救助活動の件数は13件で、前年と比較すると8件の減少となっています。一番多いのが「建物等の事故」で7件となっており、次いで「その他の事故」で5件です。

3. 令和元年中の救助人員は **12 人** 前年比は **9 人 減少**

	救助人員 合計	火災	交通 事故	水難 事故	自然災害	機械 事故	建物等 の事故	ガス酸欠 事故	破裂 事故	その他 事故
令和元年	12		1				7			4
平成30年	21	1	2	2			6			10
前年比	-9	-1	-1	-2			1			-6

令和元年中の救助人員は12人で、前年と比較すると9人の減少となっています。一番多いのが「建物等の事故」で7人となっており、次いで「その他の事故」の4人となっています。

災害別・月別出動件数

令和元年

種別		月別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
緊急確認	件数	1	1	1	3	1	4	1	5		4	3	3	27
	人員	3	11	7	31	7	26	17	16		18	7	11	154
	車両	1	4	3	12	3	10	6	6		8	3	4	60
救助出動	件数		2	4		4	2	1	2	1	2		5	23
	人員		12	27		26	15	9	18	2	10		36	155
	車両		4	8		9	6	3	7	1	4		12	54
風水害出動	件数						7	1	2	17				27
	人員						24	3	4	44				75
	車両						9	2	2	17				30
ガス漏れ こんろ油鍋	件数			1	2	1		1		1	2	3	1	12
	人員			7	27	2		16		3	5	7	12	79
	車両			3	10	1		6		1	2	3	5	31
油流出事故	件数				3	1	1		4	2	1	1		13
	人員				9	3	2		20	5	3	2		44
	車両				3	1	1		10	2	1	1		19
ハブ・ハチ 動物出動	件数				1									1
	人員				3									3
	車両				1									1
自動火災 報知機誤報	件数	12	11	9	13	17	28	25	19	16	13	10	13	186
	人員	30	30	24	38	47	76	67	44	43	31	22	30	482
	車両	12	11	12	15	19	28	29	19	16	13	10	13	197
たき火	件数			1	1	3					1	3	1	10
	人員			3	2	12					3	5	2	27
	車両			1	1	4					1	3	1	11
救急支援活動	件数	52	35	43	34	48	51	46	51	64	62	54	71	611
	人員	132	87	104	92	129	130	116	124	167	154	128	176	1,539
	車両	52	35	43	34	50	51	46	52	64	63	54	72	616
その他出動	件数	1		1				3	1	1	1	3		11
	人員	3		2				7	2	2	2	8		26
	車両	1		1				3	1	1	1	3		11
合計	件数	66	49	60	57	75	93	78	84	102	86	77	94	921
	人員	168	140	174	202	226	273	235	228	266	226	179	267	2,584
	車両	66	54	71	76	87	105	95	97	102	93	77	107	1,030

行政区別出動件数

令和元年

行政区別	種別	緊急確認	救助出動	風水害	こんろ 油鍋 ガス漏れ	油流出 事故	ハブ・ハチ 駆除 動物等	自動火 災報知 器誤報	たき火	救急 支援	その他	計
野 嵩 1 区			3	3		1		5	1	24		37
野 嵩 2 区										4		4
野 嵩 3 区										4		4
普 天 間 1 区			2	3				1		14		20
普 天 間 2 区		1						1		3		5
普 天 間 3 区		2	1	1				4		19		27
新 城 区		4	1	4			1	6		30		46
喜 友 名 区		1						8		10		19
伊 佐 区		1		2		1		20		41		65
大 山 区		3				1		21		56	3	84
真 志 喜 区		2	1	2		2		23		43	1	74
宇 地 泊 区		1	2	1		2		4		35	1	46
大 謝 名 区		2		3	1			11		58	2	77
嘉 数 区			1	2	1			3	1	25		33
真 栄 原 区			4	1	3			15		66	2	91
我 如 古 区		3	3	2	2			21	2	57	1	91
長 田 区			2	1		3		17	2	28	1	54
宜 野 湾 区		3	1	1	1	1		17	1	38		63
愛 知 区			1		3			9	2	28		43
中 原 区		4	1	1	1	2			1	27		37
そ の 他										1		1
計		27	23	27	12	13	1	186	10	611	11	921



その他

令和元年消防関係主要行事

月 日	行事名
1月8日	平成31年宜野湾市消防出初式
1月24日～25日	沖縄県国民保護共同訓練(那覇市)
2月9日、2月17日	宜野湾市地震、津波避難訓練
2月15日	中部地区消防総合訓練(うるま市)
3月1日～7日	春の全国火災予防運動週間
3月4日	県営大謝名団地消防総合訓練
4月8日	沖縄県消防長会春季総会(那覇市)
5月23日	全国消防長会予防委員会(大阪府)
5月31日	沖縄県救助技術指導会(中城村:県消防学校)
6月2日～8日	危険物安全週間
6月13日～14日	中部消防長会水難救助訓練(沖縄市)
7月5日	防火七夕
7月29日	沖縄コンベンションセンターにおけるテロ対応訓練
8月27日	沖縄県緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練(中城村及び北中城村)
9月1日	沖縄県総合防災訓練(宮古島市)
9月6日	沖縄県消防協会中部地区支会消防団操法大会(中城村:県消防学校)
10月25日	沖縄県消防長会秋季総会(名護市)
10月31日	沖縄県消防団操法大会(中城村:県消防学校)
11月7日	全国消防長会予防委員会(福岡県)
11月9日～15日	秋の全国火災予防運動
11月13日	全国女性消防操法大会(神奈川県)
11月15日	3機関合同潜水訓練(沖縄市) ※3機関:消防、警察、海上保安庁
11月15日	全国消防長会九州支部役員会(那覇市)
12月17日～18日	美ら島レスキュー2019(各市町村)

令和元年消防訓練関係

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
各部訓練	3	3	3	3	3		3	3	3	3		3	30
救助訓練		3	3				3	3	3	1	1	1	18
水難救助訓練		3	3	5	3		3	3	3	3	1	1	28
総合訓練	2	3	1			2	1	1	1		1	2	14
合 計	5	12	10	8	6	2	10	10	10	7	3	7	90

令和元年救命講習関係

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	回数 人員
	上級救命講習									1			
									27				27
応急手当 普及員講習									1				1
									7				7
普通救命講習	4	4	2	5	8	8	10	12	6	8	4	7	78
	113	70	35	138	149	109	165	233	54	150	42	81	1,339
救命入門コース	2	3		3	2	3	3	4	5	1	1		27
	31	145		37	93	162	40	125	104	10	14		761
防災教育		1	1		1	2	5	2		3	3	3	21
		40	50		30	27	158	30		94	71	30	530

延回数 128 回 延人数 2,664 人

救命講習・防災教育は、無料で受講することができます。
 申込みについては、消防署へお問い合わせください。
 救命講習(毎月第二週火曜開催)

令和元年庁舎見学

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	回数 人員
	園児	3	1					3	3	3		9	2
92		26					131	104	138		594	47	1,132
小学生	1			2	3	1	3	3	1	1	1		16
	15			246	376	111	344	34	103	13	17		1,259
その他 (専門学校)			1					1					2
			16					10					26

延回数 42 回 延人数 2,417 人

宜野湾市消防本部では、園児や学生の防災への関心を高めるため、積極的に受け入れを行っています。

令和元年職場体験学習

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	回数 人員
	中学生						1	1					2
						5	5					10	20
高校生										1	1	1	3
										8	10	10	28
その他 (専門学校)													

延回数 7 回 延人数 48 人

気象観測集計データ(令和元年)

宜野湾市

種別 月別	風向・風速(m/s)		気温	相対湿度	(月)雨量	(年)雨量累計	
	平均風速 (m/s)	最大瞬間風速		平均(°C)	平均(%)	(mm)	(mm)
		風向	風速(m/s)				
1月	3.2	北西	18.6	17.1	82.2	35.5	35.5
2月	3.1	西南西	19.7	18.8	93.2	137.0	172.5
3月	3.9	東	19.5	18.8	84.0	169.0	341.5
4月	3.7	南南西	19.8	21.3	90.7	121.0	462.5
5月	3.2	南西	15.7	23.0	89.0	255.5	718.0
6月	3.7	東南東	22.1	25.6	96.6	630.5	1,348.5
7月	3.6	東南東	22.1	28.1	95.3	151.0	1,499.5
8月	4.4	東南東	28.9	28.1	96.5	272.0	1,771.5
9月	4.6	南東	41.6	26.9	96.2	423.5	2,195.0
10月	3.3	東南東	15.2	24.8	90.9	60.0	2,255.0
11月	3.9	東	18.1	21.9	85.4	143.5	2,398.5
12月	3.7	北北東	17.0	18.9	88.1	99.5	2,498.0
平均	3.7			22.8	90.7	208.2	

ねたての都市^{まち}
ギョウ